

戦前の日本における朝鮮人美術留学生と戦後の活動
〔図版・資料編〕

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程
美術専攻 芸術学研究領域（日本・東洋美術史）

1311926 金智英

〔 図 版 編 〕

目次

第 1 章	東京美術学校の朝鮮人留学生と韓国の初期美術大学.....	2
第 2 章	文化学院の朝鮮人留学生と韓国の前衛美術	8
第 3 章	大阪美術学校の朝鮮人留学生と韓国の地方美術.....	15
第 4 章	女子美術学校の朝鮮人留学生と、韓国と北朝鮮の刺繍美術	19
第 5 章	美術留学生の群像：帝国美術学校、太平洋美術学校の資料から	27
第 6 章	張勃一韓国近現代史の渦中にいた美術行政・美術教育家.....	30
第 7 章	金煥基―「韓国的」な造形と政治からの自由	33
第 8 章	全和鳳―朝鮮人のアイデンティティを造形源とした在日朝鮮人美術家.....	38
第 9 章	真鍋英雄-日本人として生きた知られざる在日朝鮮人美術家.....	42

第1章 東京美術学校の朝鮮人留学生と韓国の初期美術大学



図1 金観鎬 《夕暮れ》 キャンバス、油彩
127.5×127.5cm 1916年
東京藝術大学大学美術館蔵



図2 金仁承 《裸婦》（東京美術学校卒業制作）
第16回朝鮮美術展覧会・特選（昌徳宮賞）
1937年 所在不明



図3 尹承旭 《笛を吹く少女
（피리 부는 소녀）》
ブロンズ 150×33×35cm 1937年
韓国・国立現代美術館蔵

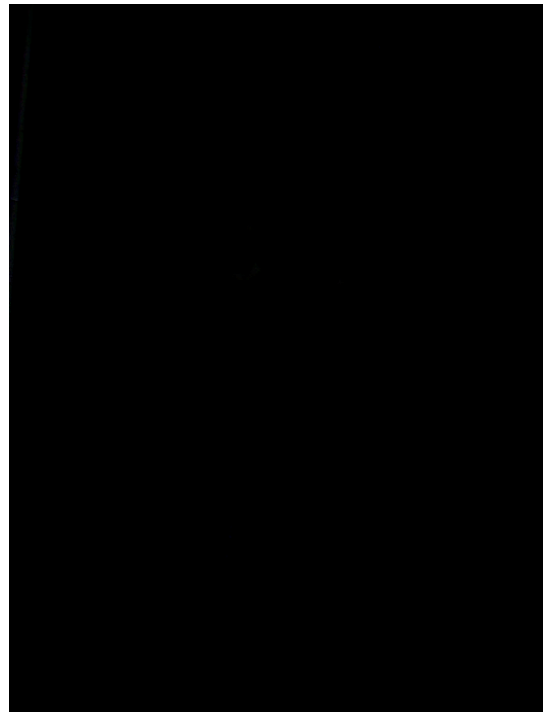


図4 1940年代の舞鶴女子高等学校の美術部集
合写真
*2列左端の男性が東美校出身の美術教師だっ
た李海晟(1939年度西洋画科入学・44年度卒業)。
写真提供：沈竹子（李海晟の右2人目）



図5 1940年代の梨花女子大の実技室
(写真提供：李慶順)

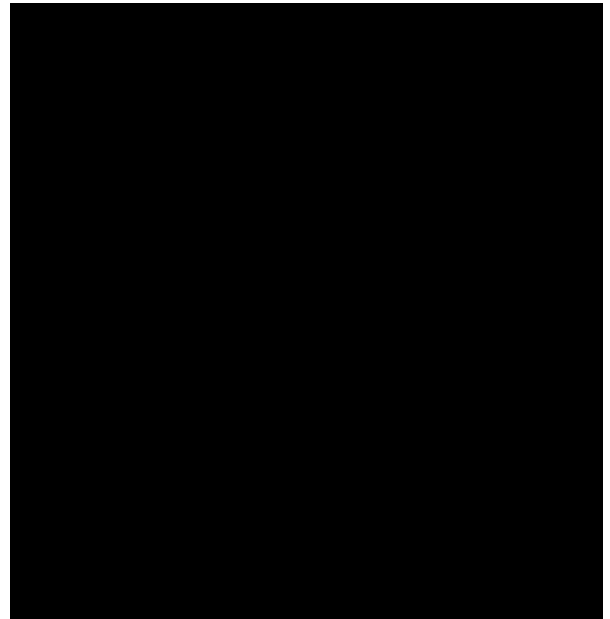


図6 梨花女子大学第1期卒業生・韓珍洙の卒業制作
(自画像と自由制作) 1949年
(出典：「韓珍洙」展図録、ソウル：平和ギャラリー、
2010年)

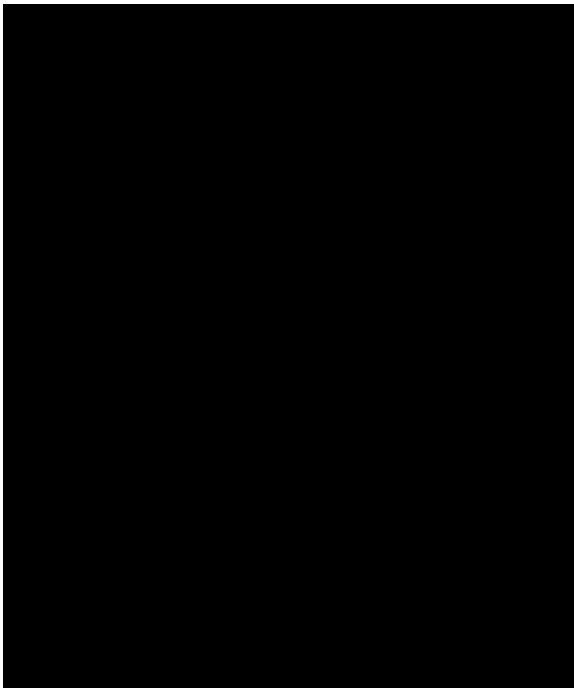


図7 梨花女子大学の実技室、1947年春
(写真提供：李慶順)

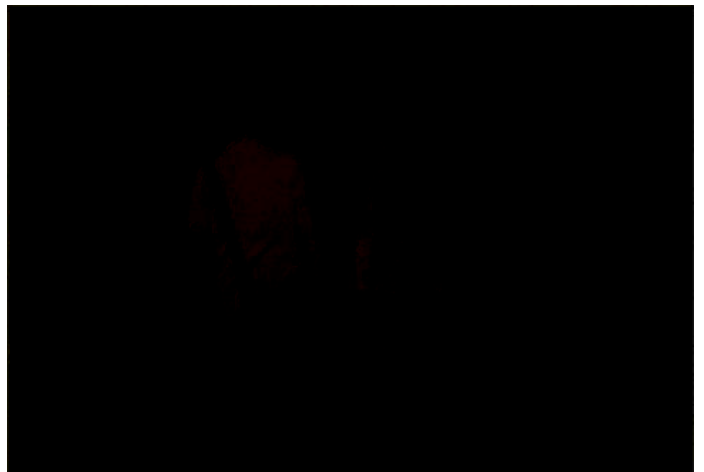


図8 ソウル大学の実技室 1954年
(出典：『大学新聞写真で見るソウル大学50年(대학신문사
진으로 보는 서울대학교 50년)』ソウル：ソウル大学校大
学新聞社、2004年)

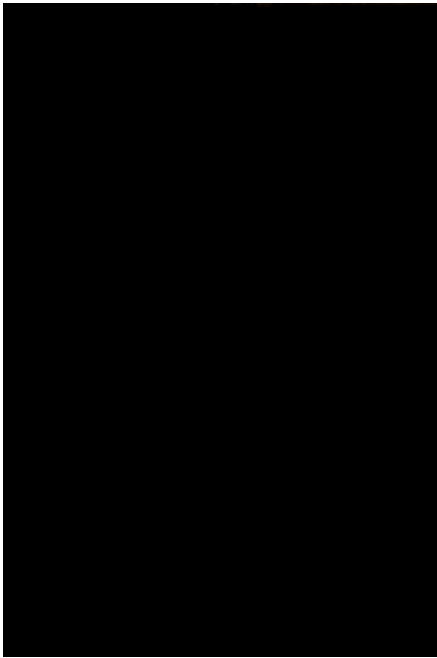


図9 崔景漢、大学2年次に描いた
スケッチ、1953年
(出典：『崔景漢口述録取文』ソウル：
サムスン・リウム美術館・韓国美術
記録保存所、2006年)

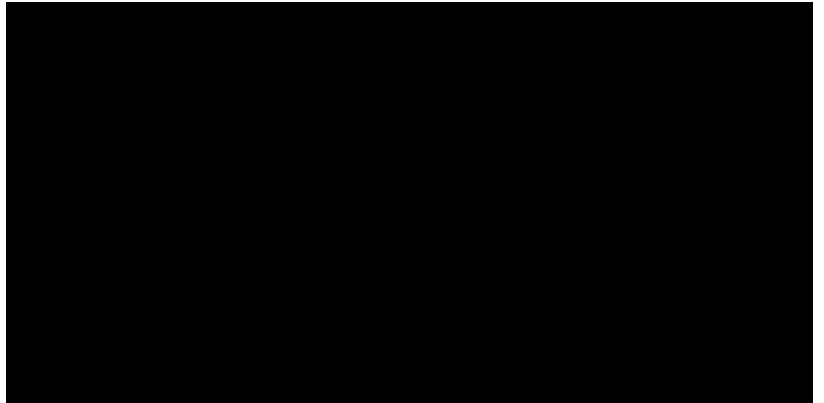


図10 弘益大学の実技室 1957年
(出典：『韓国現代美術史の中の弘益美術』ソウル：弘益大学校美術大学、
2009年)



図11 金鍾瑛 《伝説》 鉄
65×70×77cm 1958年
金鍾瑛美術館蔵

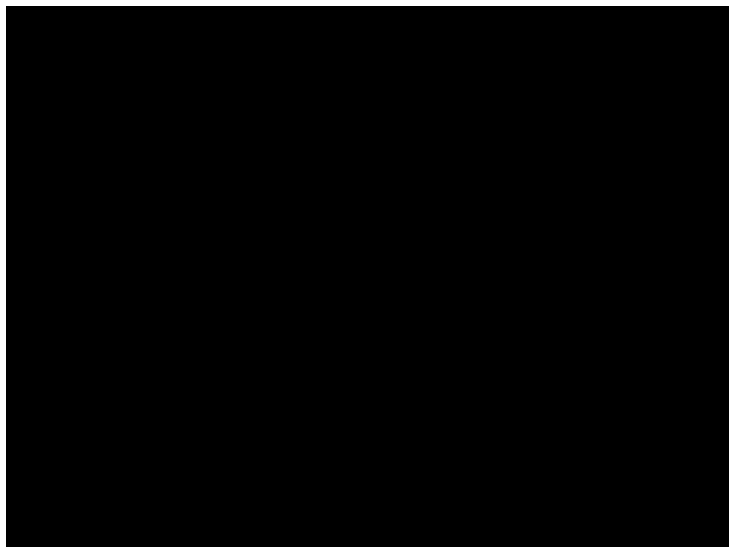


図12 1947年のソウル大彫刻科の実技室
* 黒い洋服を着ている人物が金鍾瑛。
(出典：『韓国美術記録保存所 資料集』第5号、ソウル：サム
スン文化財団 [삼성문화재단]、2006年)

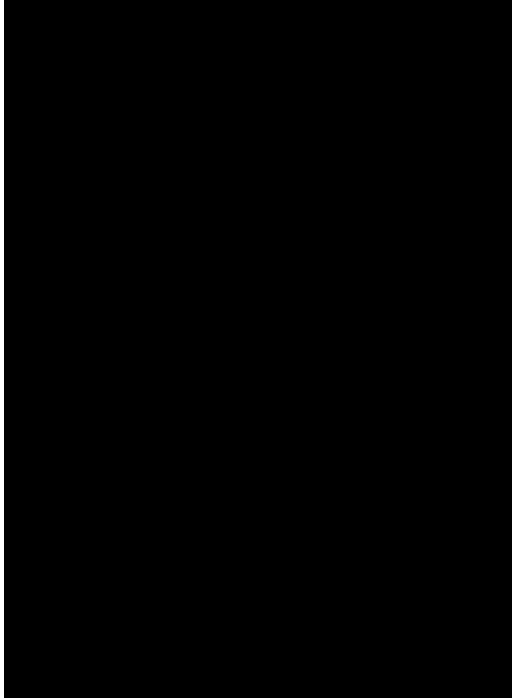


図13 金貞淑 《作品》 1957年
サイズ・所在不明
(出典:「第6回大韓民国美術展覧会」図録、ソウル:自然科学社、1957年)

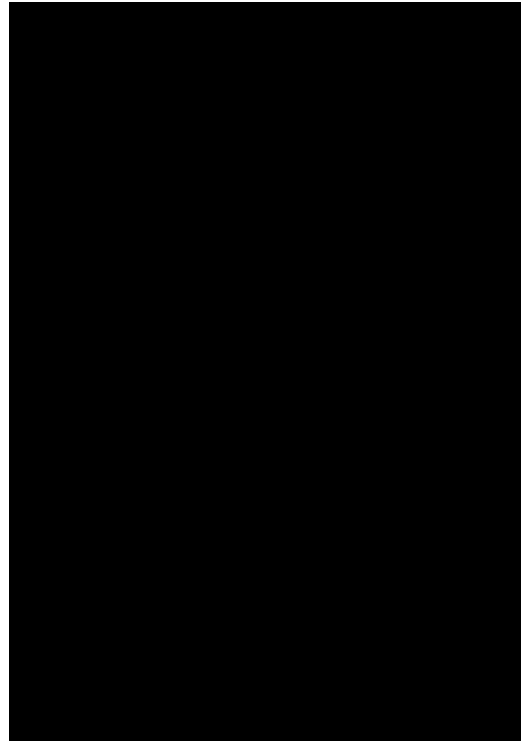


図14 金仁承 《紅扇 (홍선)》
キャンバス、油彩 96×70cm 1954年
韓国・国立現代美術館蔵

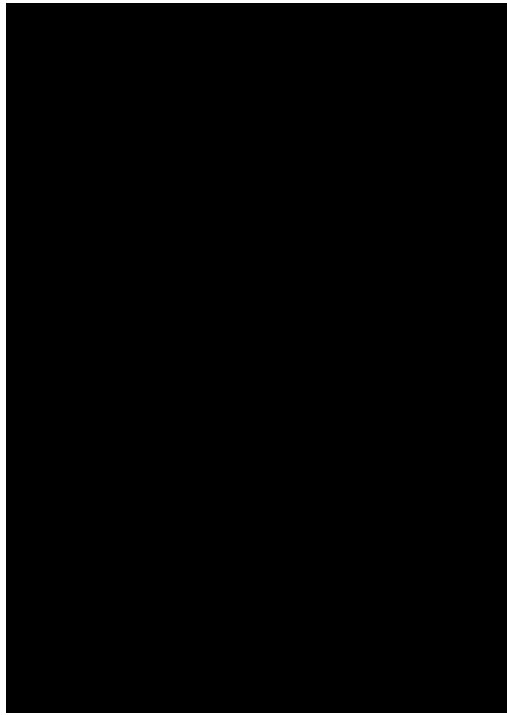


図15 李慶順 《テラスで (테라스에서)》
第9回国展 1960年
サイズ・所在不明
(出典:「第9回大韓民国美術展覧会」図録、ソウル:自然科学社、1960年)

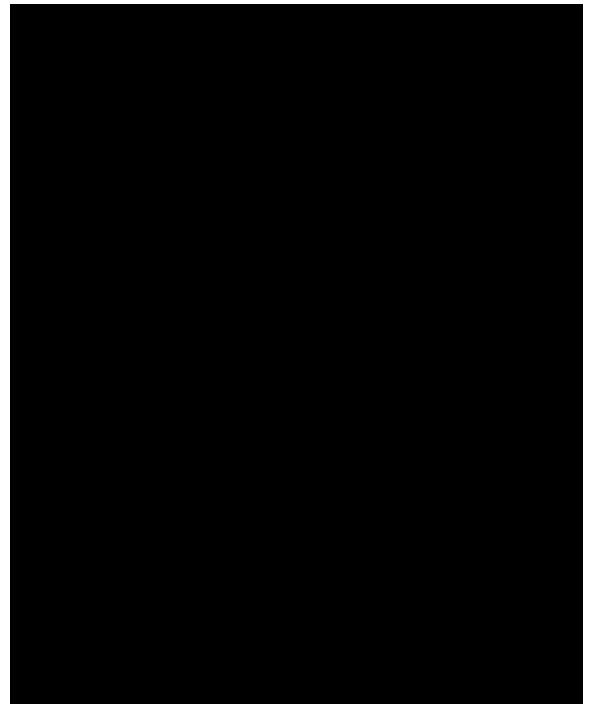


図16 韓珍洙 《舞姫》 キャンバス、油彩
162×130cm 1970年 個人蔵
(出典:「韓珍洙」展図録、ソウル:平和ギャラリー、2010年)

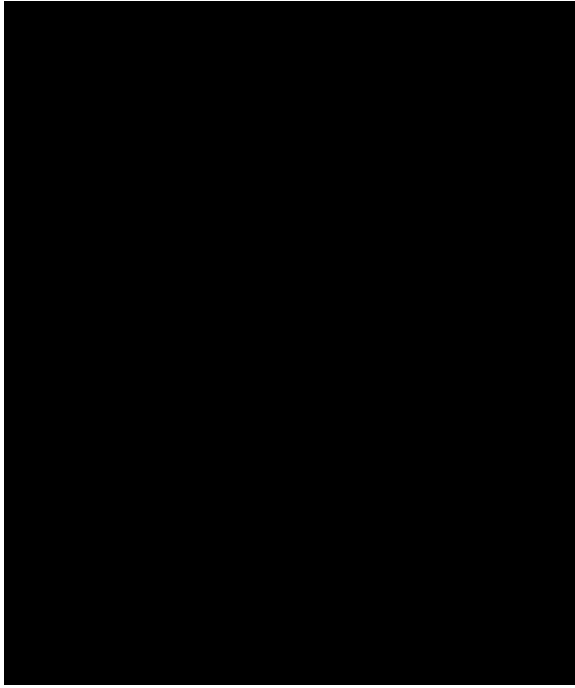


図17 金仁承 《舞姫》 キャンバス、油彩
73×61cm 1946年 個人蔵

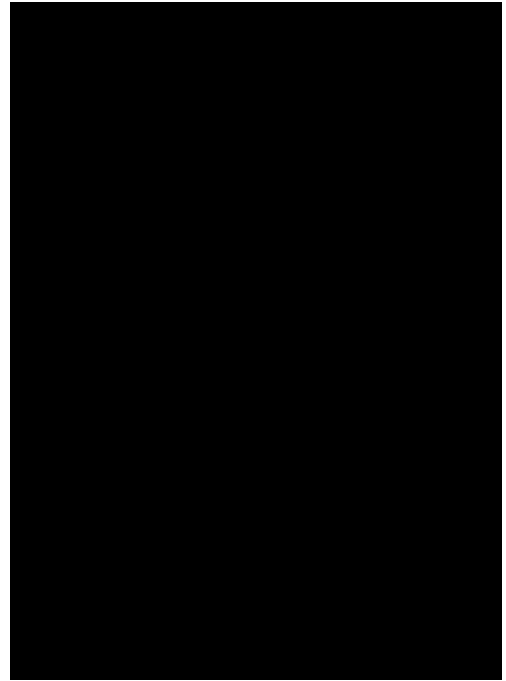


図18 崔景漢 《少女》
第6回校内美展（総長賞）1955年
サイズ・所在不明
（出典：「第6回校内美展」『ソウル大学
校大学新聞』1955年6月27日）

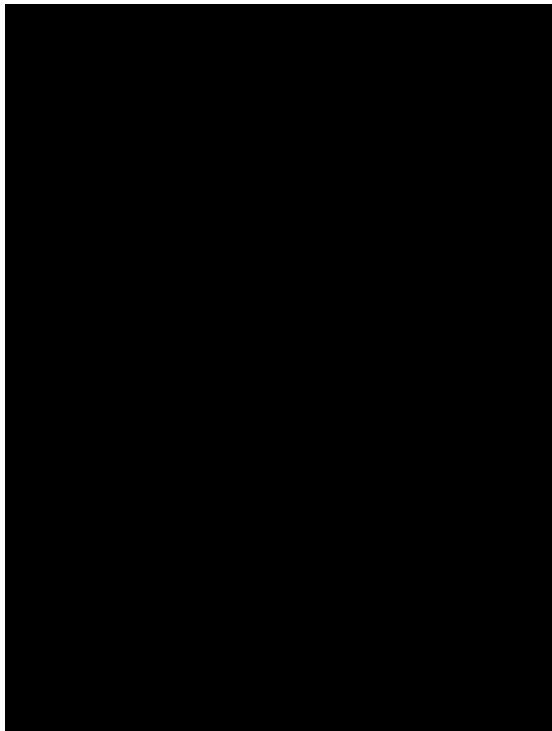


図19 文学晋 《自転車にぶつかった
運転手（자전거에 부딪힌 운전자）》
キャンバス、油彩 162×112cm
第7回国展（文教部長官賞）1958年
個人蔵

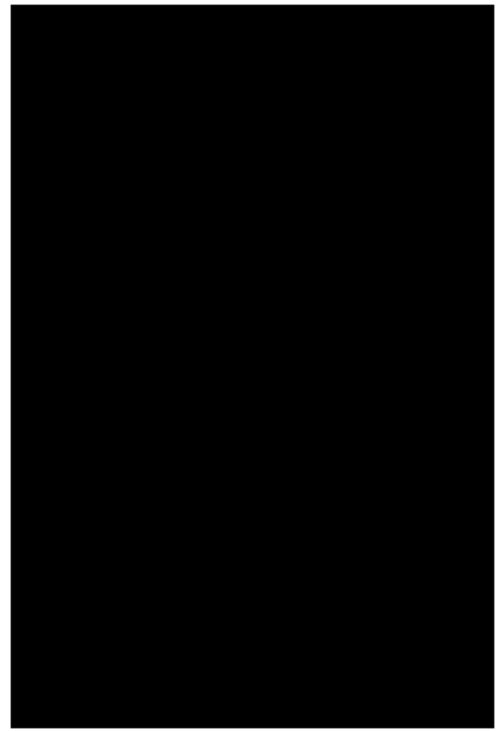


図20 宋榮洙 《女人立像》
第6回校内美展（美術大学長賞）
1955年 所在不明
（出典：「第6回校内美展」『ソウル大学
校大学新聞』1955年6月27日）



図21 宋榮洙 《不在の木
(부재의 나무)》
第6回国展(推薦作品)
1957年 所在不明
(出典:「第6回大韓民国美術
展覧会展」図録、ソウル:自
然科学社、1957年)

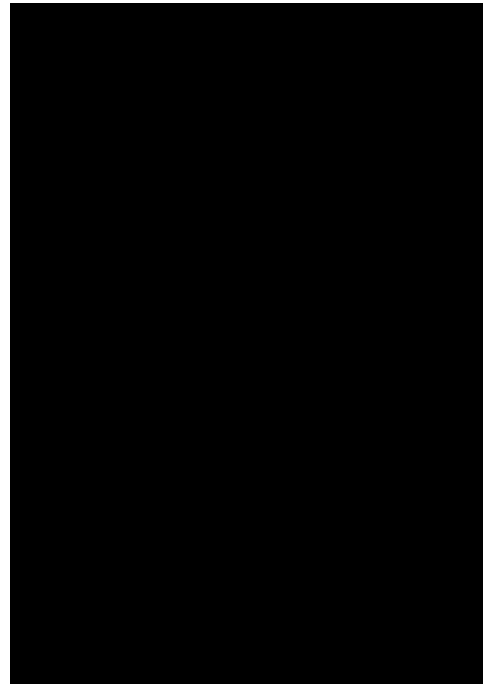


図22 金叔鎭 《C嬢》
第6回国展(文教部長官賞)
1957年 サイズ・所在不明
(出典:「第6回大韓民国美術展覧会展」
図録、ソウル:自然科学社、1957年)

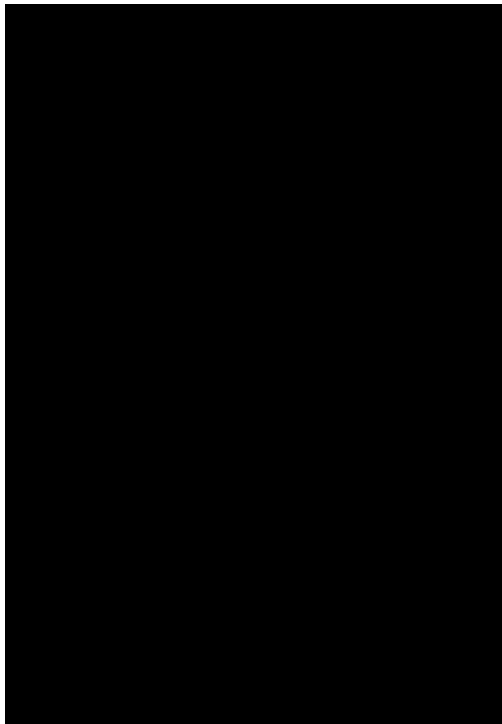


図23 朴栖甫 《二人(두 사람)》
キャンバス、油彩 92×72cm
1955年 個人蔵

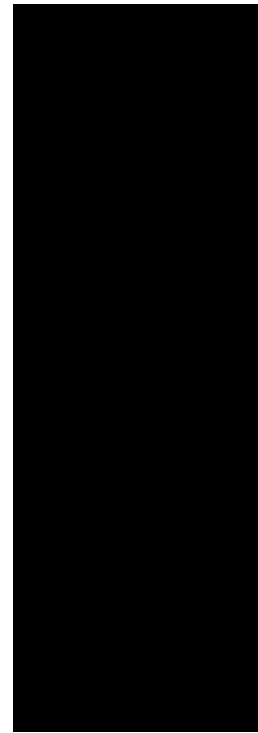


図24 金燦植 《壺を持った女人
(항아리를 든 여인)》
第6回国展(無監査特選)
1957年 サイズ・所在不明
(出典:「第6回大韓民国美術展覧会展」
図録、ソウル:自然科学社、1957年)

第2章 文化学院の朝鮮人留学生と韓国の前衛美術

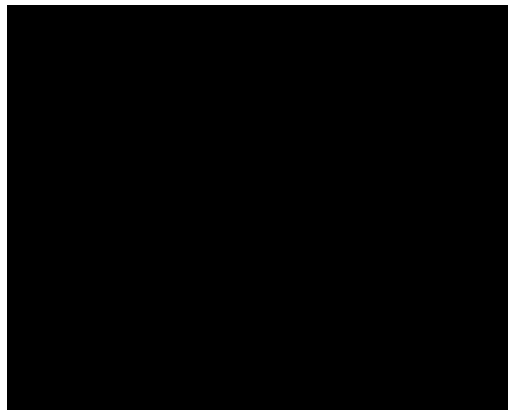


図1 1921年の文化学院

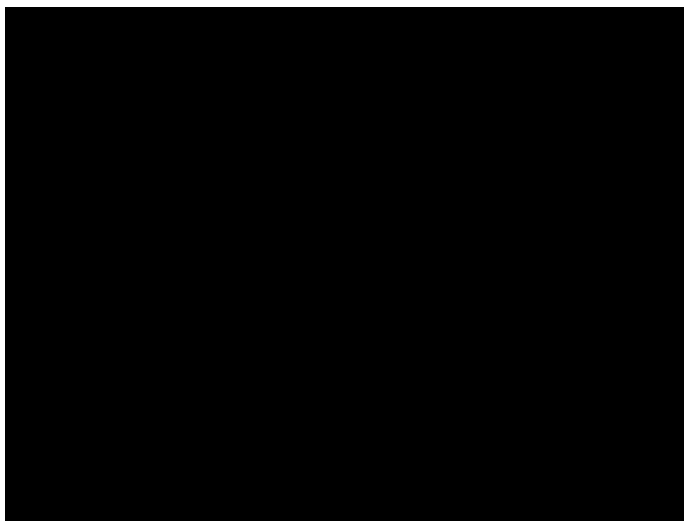


図2 第11回文化学院美術科の卒業写真
劉永国美術文化財団蔵 1938年
*前列の左端が劉永国、後列の左から6人目が石井柏亭、
7人目が西村伊作。

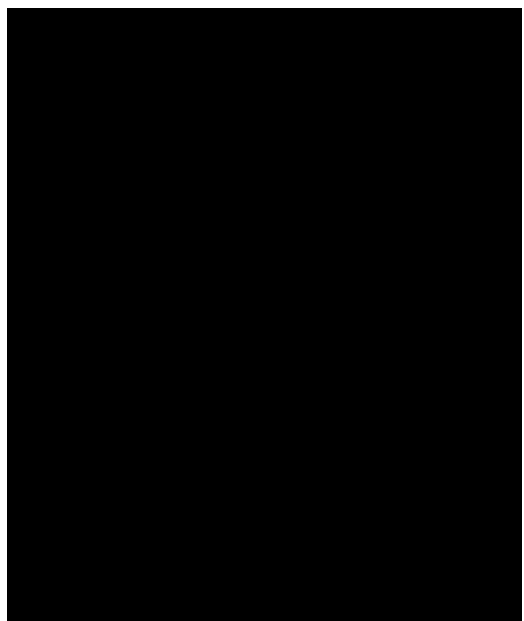


図3 山下新太郎 《端午》
キャンバス、油彩 54.2×45cm
1915年 石橋美術館蔵

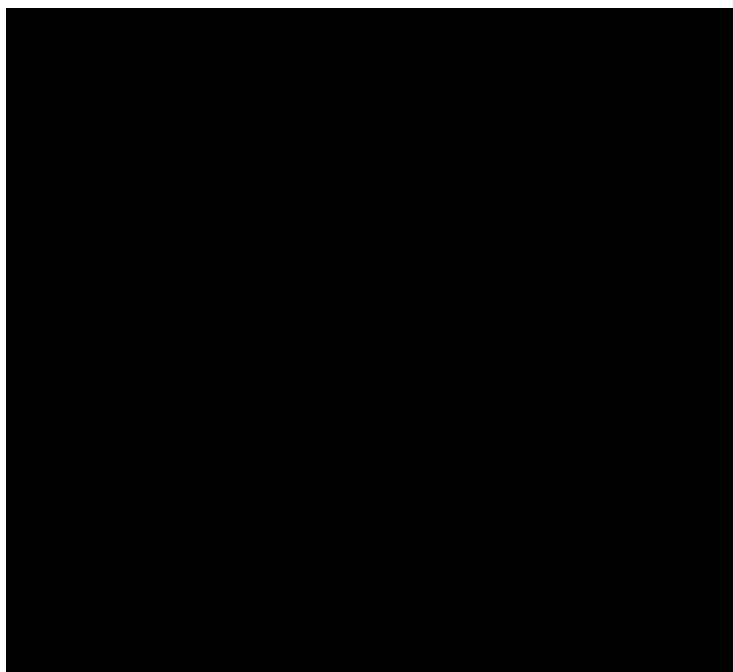


図4 中川紀元 《アラベスク》 キャンバス、油彩 195×193cm
1921年 辰野美術館蔵

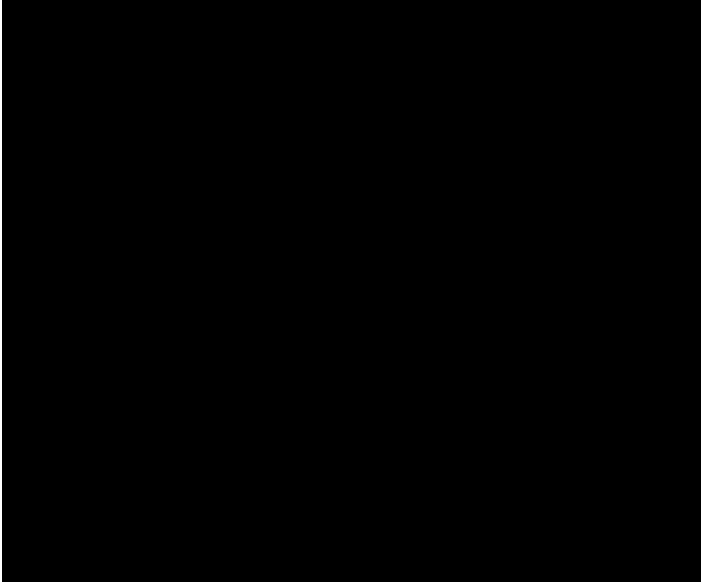


図5 村井正誠 《CITE》 キャンバス、油彩 60.5×73cm
1938年 東京国立近代美術館蔵

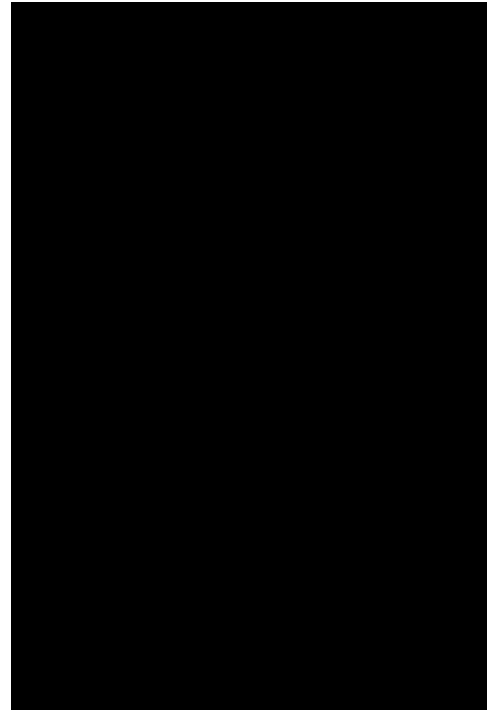


図6 李哲伊 《裸婦》 紙、木炭 1935
年 個人蔵

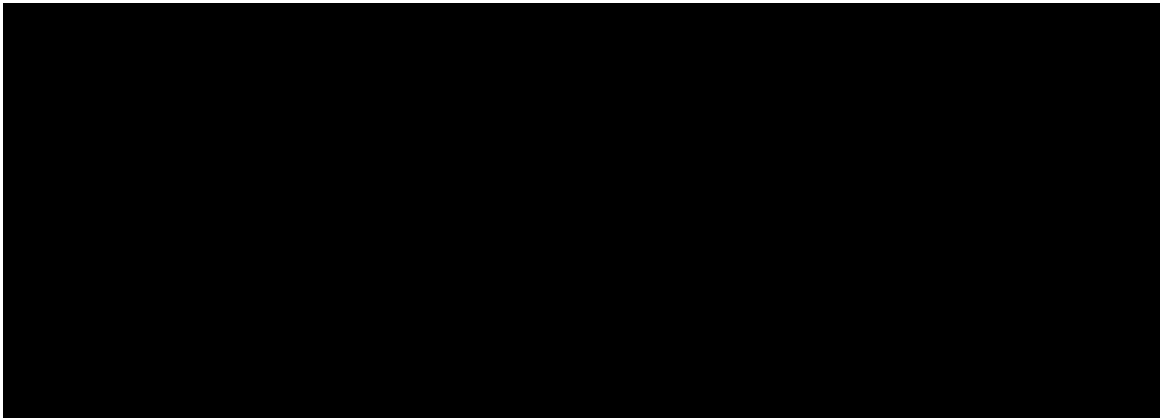


図7 自由美術家協会第2回展の様子（1938年7月、銀座・紀伊国屋画廊）
（出典：尹凡牟「一世紀を描く—101歳の現役画家・金秉騏画伯の証言（한세기를 그리다-101살 현역 김병기화백의 증언）」『한겨레（한겨레）新聞』2017年5月25日）

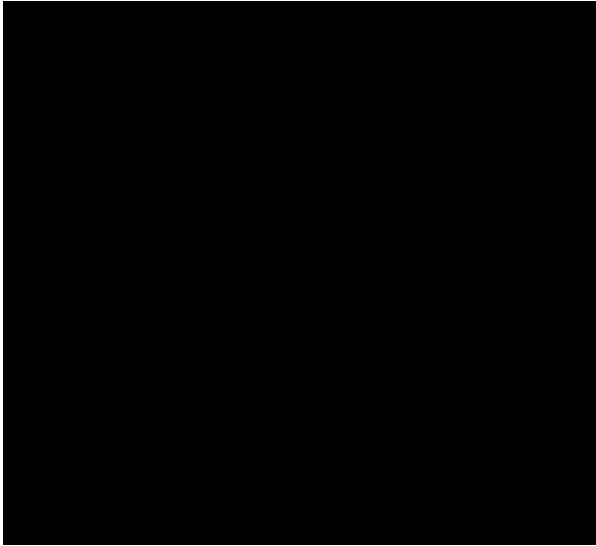


図8 劉永国 《作品4 (L24-39.5)》
ミクストメディア 90×70cm
第3回自由美術家協会展
1939年 (1979年再制作)
劉永国美術文化財団蔵

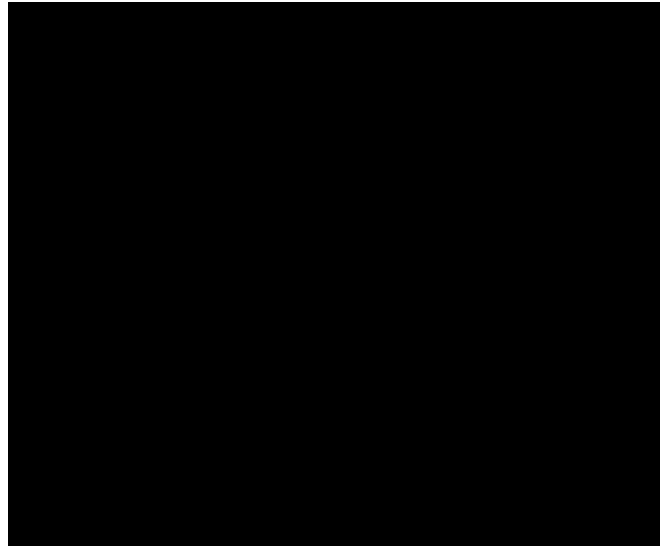


図9 金煥基 《ロンド》 キャンバス、油彩61×71.5cm
1938年 韓国・国立現代美術館蔵



図10 劉永国 《作品R3》 混合材料 65×90cm
第2回自由美術家協会展出品
1938年 (1979年再制作)
劉永国美術文化財団蔵



図11 ジャン・アルプ (Jean Arp) 《Constellation
with Five White Forms and Two Black,
Variation III》
木材に油彩 60×75.5cm 1932年
グッゲンハイム美術館蔵 (ニューヨーク)

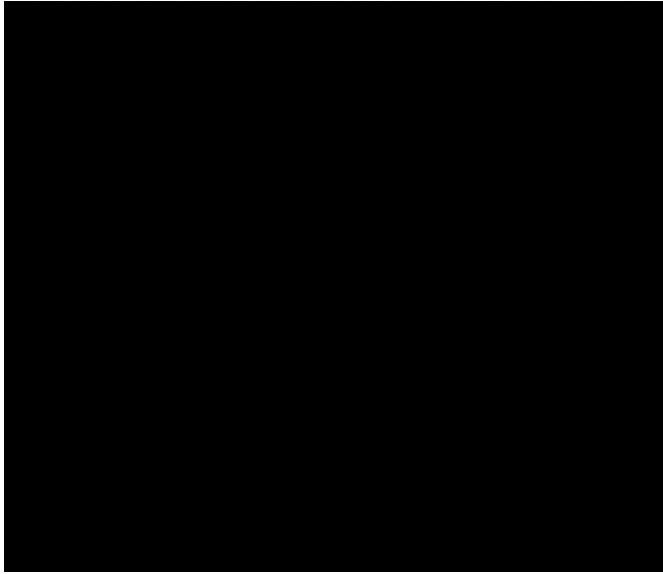


図12 文学洙 《飛行機のある風景（비행기가 있는 풍경）》 第3回自由美術家協会展 1939年
所在不明

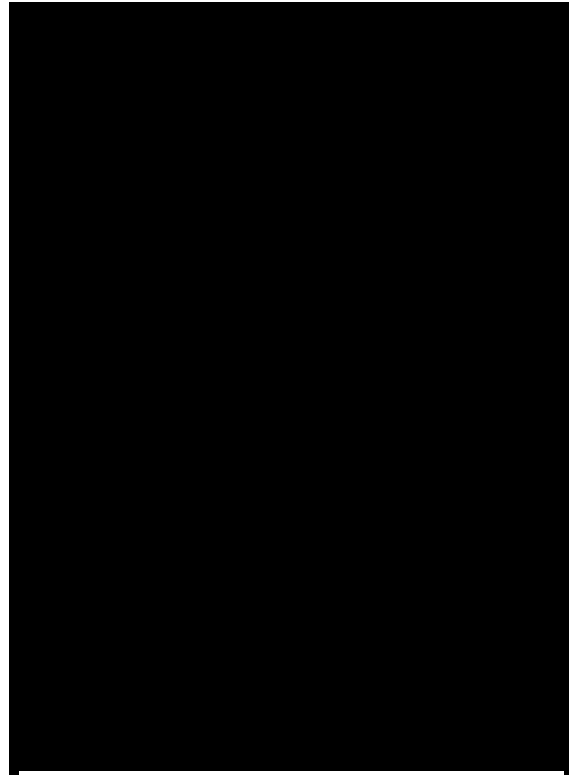


図13 李仲燮 《立てる牛（서있는 소）》
美術創作家協会京城展 1940年
所在不明

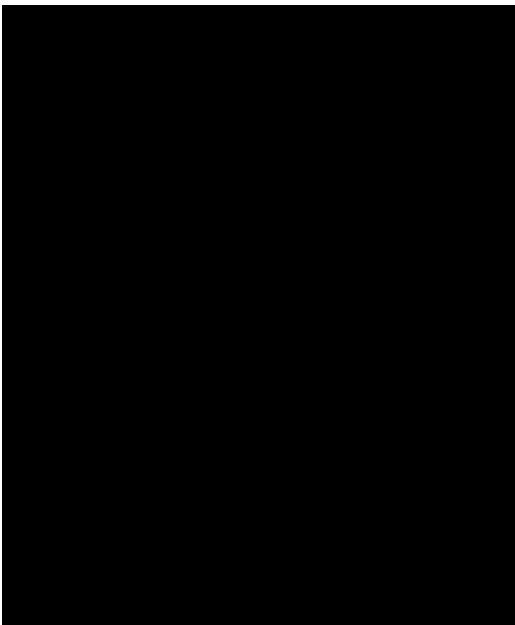


図14 李快大 《婦人図》 キャンバス、油彩
70×60cm 第3回新美術家協会展 1943
年 個人蔵

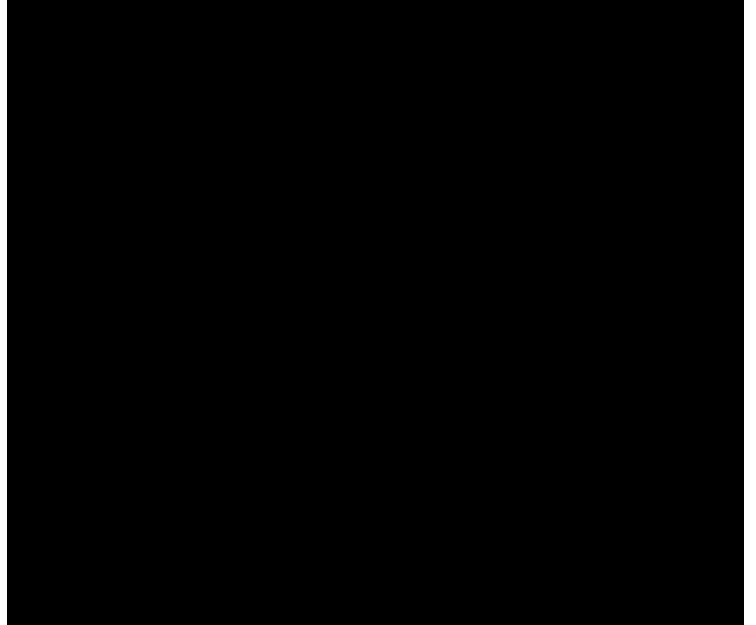


図15 李仲燮 《池のある風景（연못이 있는 풍경）》 白黒図版
第1回新美術家協会展 1941年 所在不明



図16 金基昶 《歸海》 絹、彩色
170.5×110cm
第14回朝鮮美術展覽会 1935年
韓国・国立現代美術館蔵



図17 李仲燮 《海岸の子供たち (바닷가의 아이들)》
紙、鉛筆、油彩 32.5×49.8cm 1952年
金星文化財団蔵

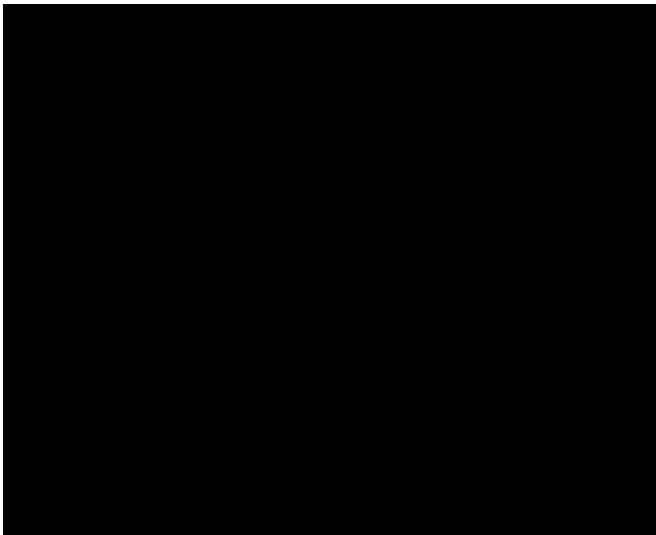


図18 津田正周 《裏街》 板、油彩 32.4×41cm
1936年 神奈川県立近代美術館蔵

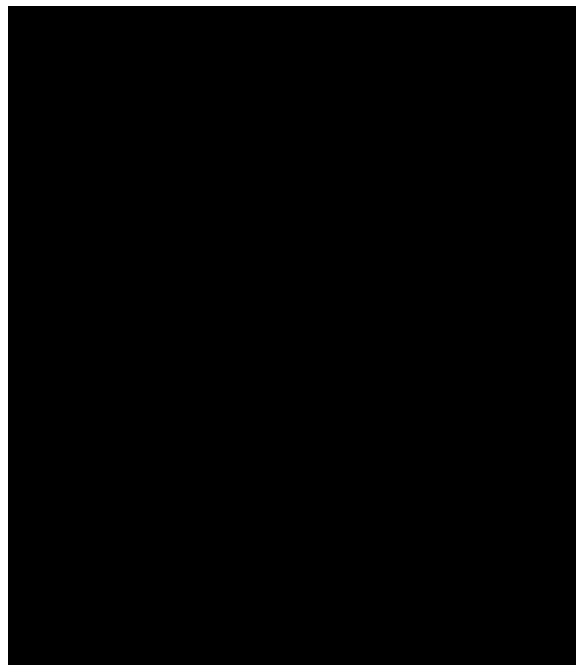


図19 劉永国 《直線がある構図 (직선이 있는 구도)》キャンバス、油彩 53×46cm
第2回新写真派展 1949年
劉永国美術文化財団蔵

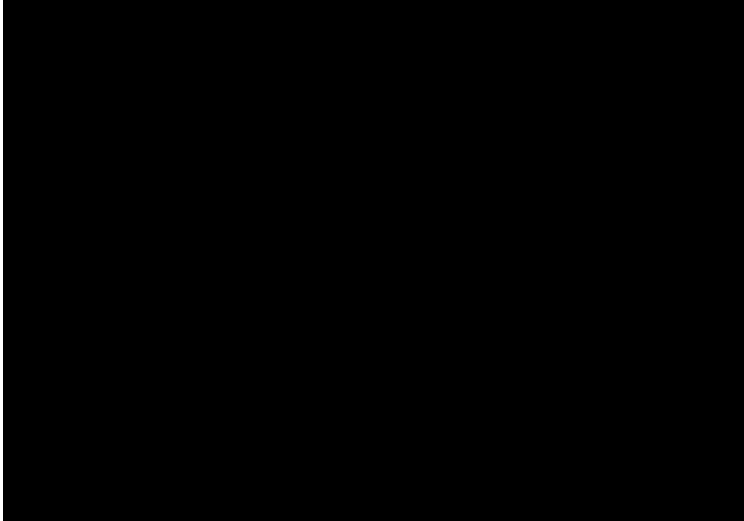


図20 劉永国 《山》 キャンバス、油彩 73×100cm 1957年
劉永国美術文化財団蔵

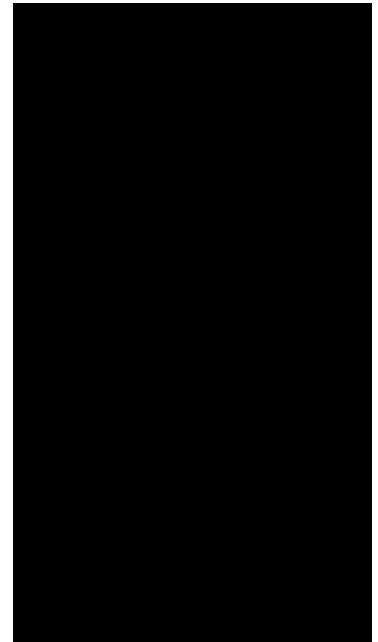


図21 任直淳 《画室》
第5回国展
(文教部長官賞) 1956年
所在・サイズ不明



図22 「60年美術家協会」の徳壽宮街頭展、1960年11月。

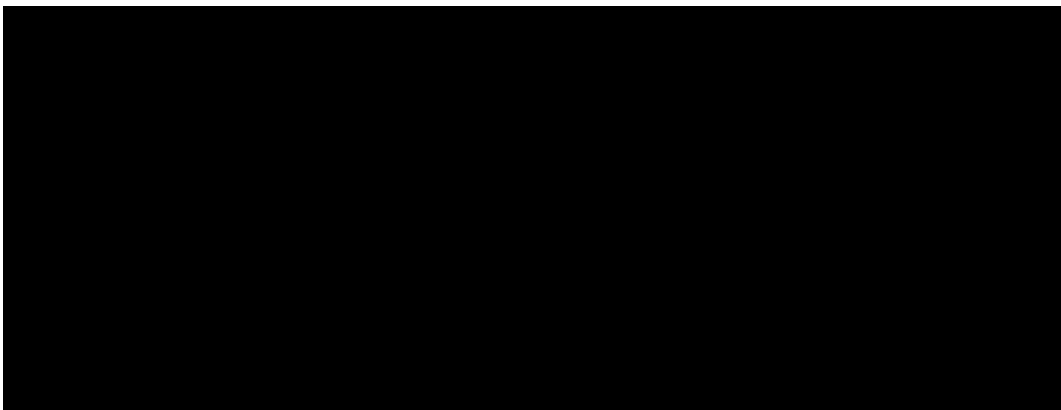


図23 「本社主催の現代作家招待美展が昨日盛大に開幕 (본사주최 현대작가 초대미진 어제
성대히 개막)」
(出典：『朝鮮日報』1957年11月23日)



図24 朴栖甫 《作品No. 7》 第4回現代美術協会展
1958年 所在不明



図25 劉永国 《山》 キャンバス、油彩
30.6×194cm 1959年 韓国国立現代美術館蔵

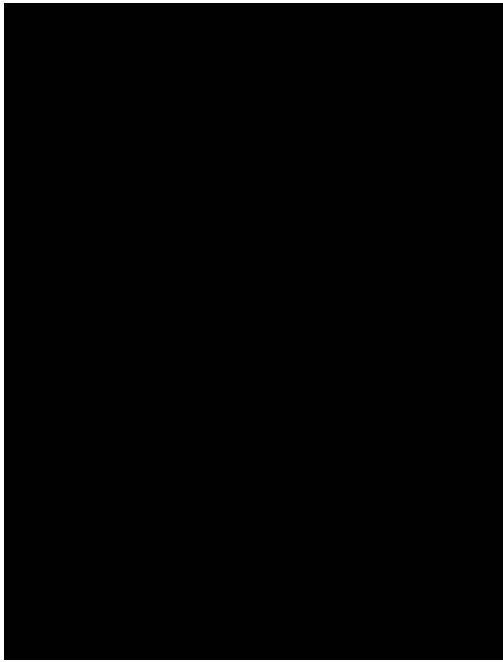


図26 金秉騏 《並木 (가로수)》
キャンバス、油彩 125.5×96cm
1956年 韓国・国立現代美術館蔵

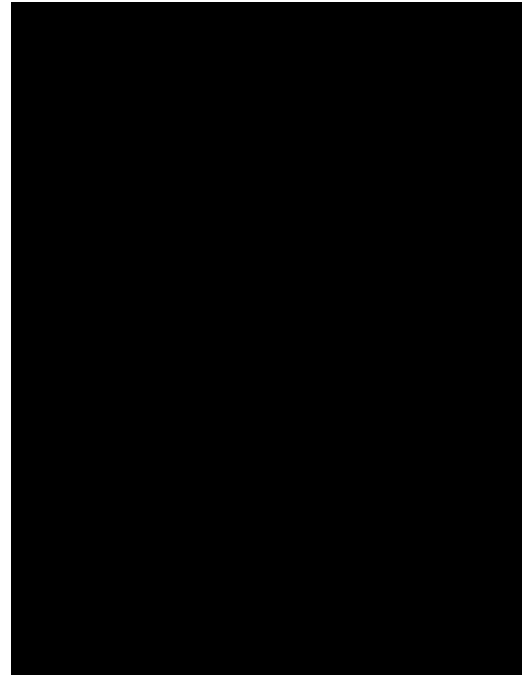


図27 文学晋 《自転車にぶつかった
運転手 (자전거에 부딪힌운전수)》
キャンバス、油彩 162×112cm
第7回国展 (文教部長官賞) 1958年
個人蔵

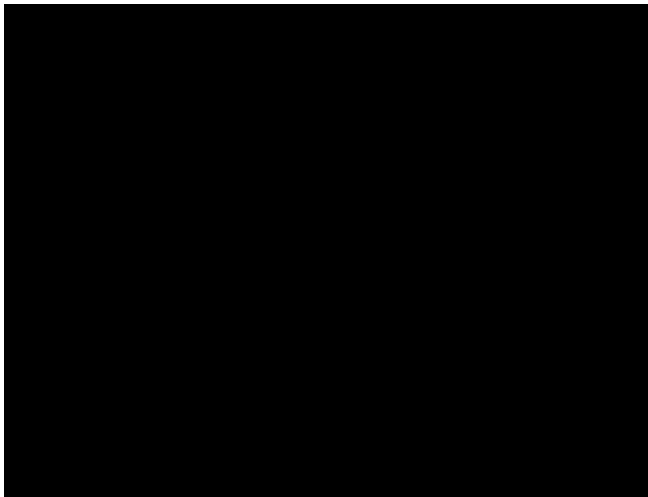


図28 崔景漢 《韻》 キャンバス、油彩
60.6×72.7cm 1962年 個人蔵

第3章 大阪美術学校の朝鮮人留学生と韓国の地方美術

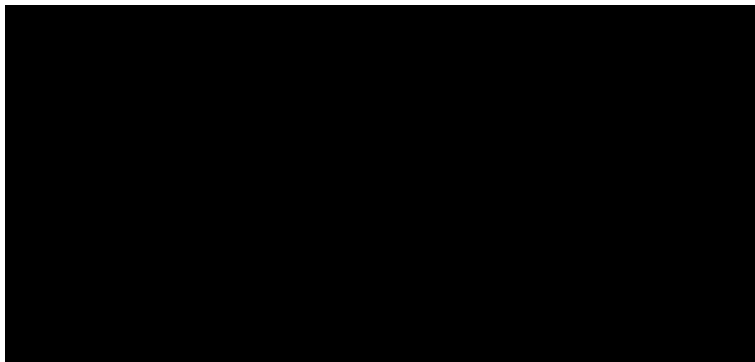


図1 大阪美術学校の新築建物の全景、1929年。
左方が日本画部、右方が洋画部の教室。
(出典：村松寛「大阪美術学校—平和から戦争へ、その20年の明暗—」『枚方市立御殿山美術センター』枚方市教育委員会、1987年、17頁)



図2 枚方市立御殿山生涯学習美術センター
(筆者撮影 2012年10月18日)

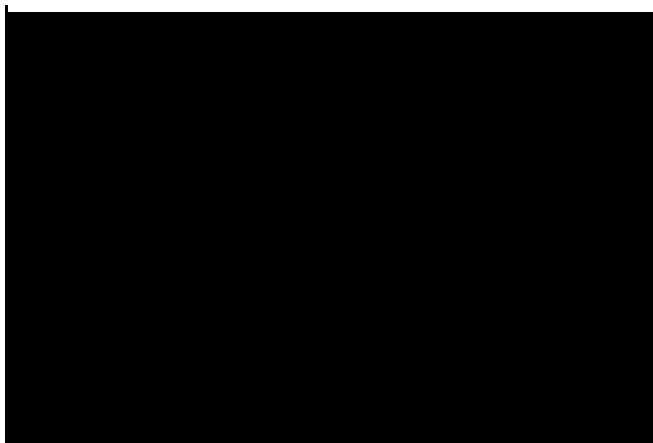


図3 日本画部の授業風景
(出典：『第十一回大美展目録』大阪美術学校同窓会、1938年6月)

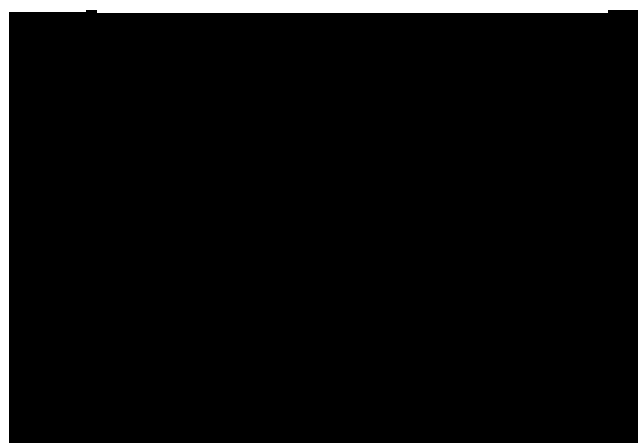


図4 洋画部の授業風景
(出典：『第十一回大美展目録』大阪美術学校同窓会、1938年6月)

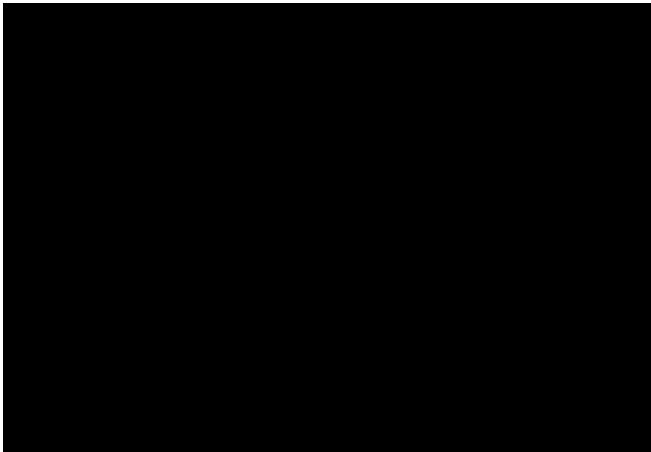


図5 大阪美術学校校庭の朝鮮人留学生たち、
1942年5月。
*左から金潤玟、尹在珩、鄭鍾汝、林湖、宋英玉。
(出典：『韓国美術記録保存所資料集第3号』、ソウル：サム
スン美術館・リウム、2004年12月、77頁)



図6 校舎の隣に位置した矢野橋村の居所「大來館」、
1929年。
(写真提供：枚方市立御殿山生涯学習美術センター)



図7 白榮洙 《笛を吹く少年 (피리부는 소년)》
キャンバス、油彩 45.5×37.9cm 1975年
個人蔵

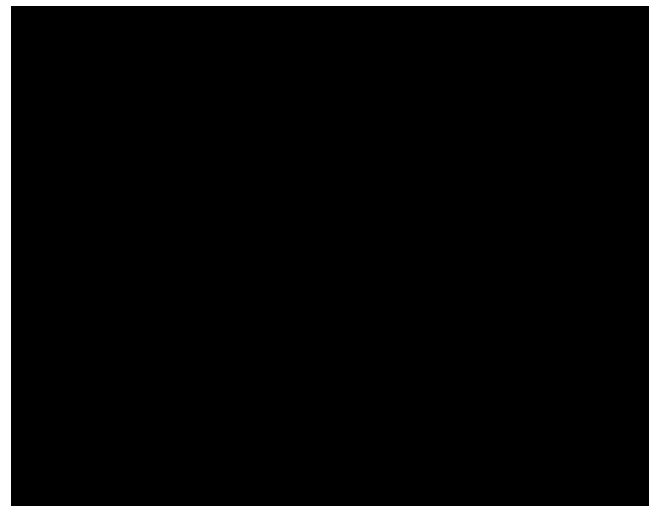


図8 林日出夫 《御殿山の春》 1943年
サイズ・所在不明
(出典：「釜山の物故作家 (부산의 작고작가) 3
林湖」 展図録、釜山市立美術館、2010年)

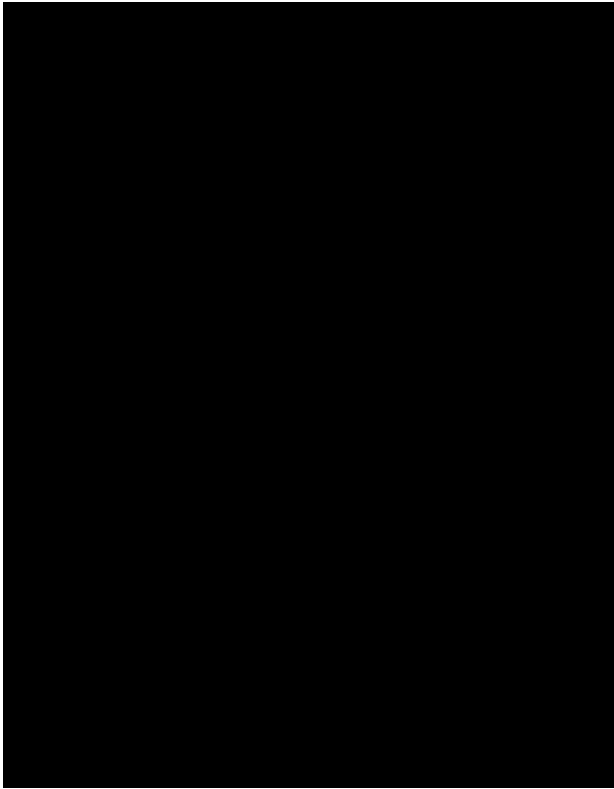


図9 斎藤与里 《つみくさ》キャンバス、油彩
116.7×90cm 1956年 埼玉県立近代美術館蔵
(出典：「近代洋画の旗手 斎藤与里とその時代」埼玉県立近代美術館、1990年)

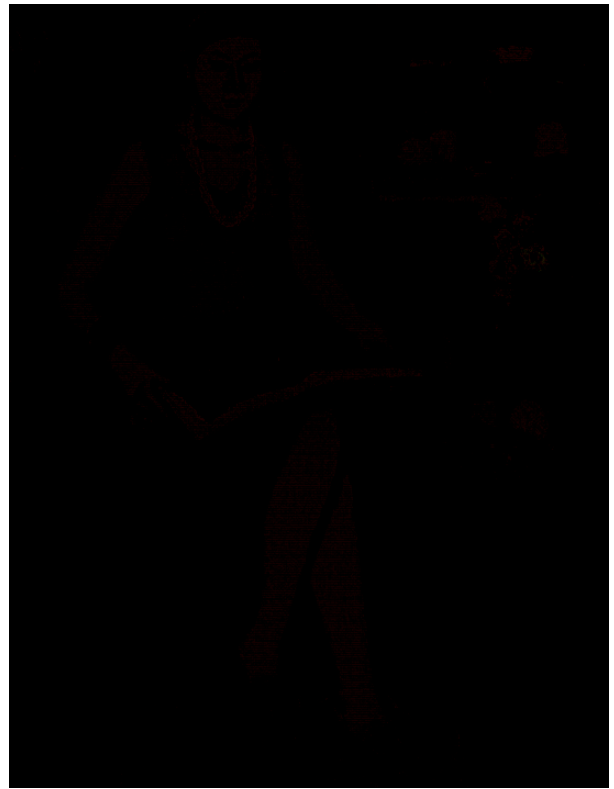


図10 尹在玪 《画集鑑賞》キャンバス、油彩
117×91cm 2004年 光州市立美術館蔵
(出典：「魂をこめた色の画家 (혼을 담은 색의 화가) 尹在玪」展図録、光州市立美術館、2010年)

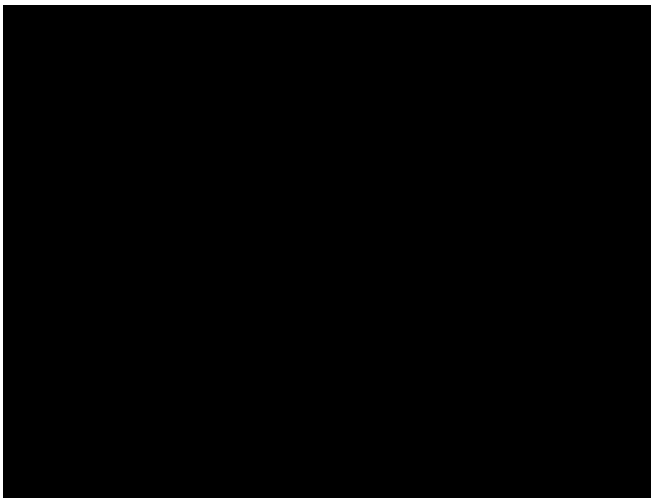


図11 金潤玟 《洛東江辺》41×53cm 1980年代
遺族所蔵
(出典：「釜山の物故作家 (부산의 작고작가) 6 金潤玟」展 図録、釜山市立美術館、2011年)

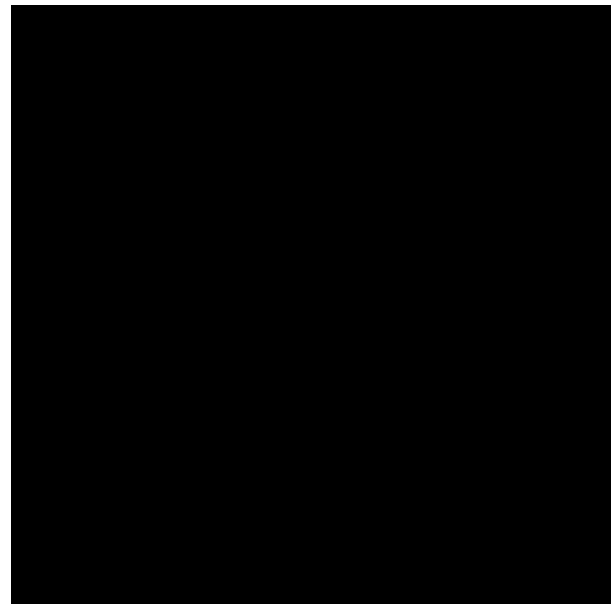


図12 林湖 《海辺》89×89cm 制作年不詳
釜山市立美術館蔵
(出典：「釜山の物故作家 (부산의 작고작가) 3 林湖」展図録、釜山市立美術館、2010年)

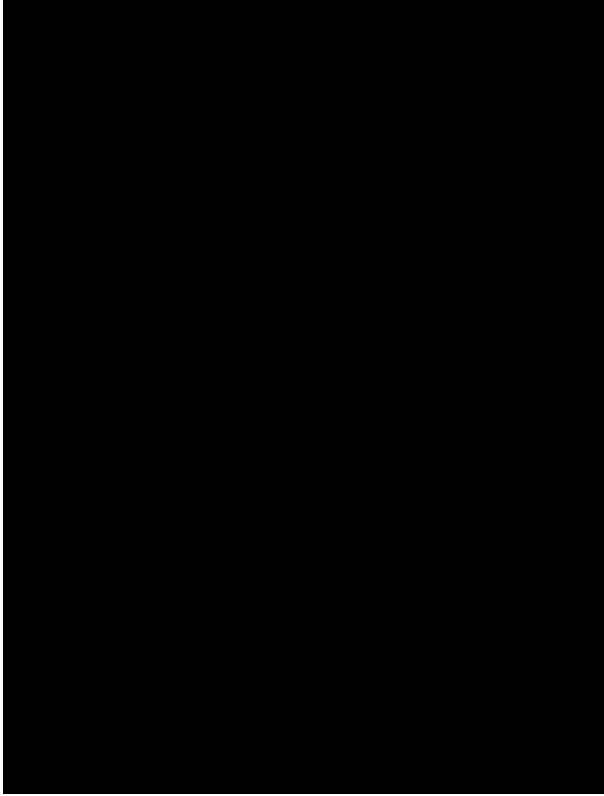


図13 邊時志 《女性座像》 キャンバス、油彩
110.8×84cm 1949年
韓国・国立現代美術館蔵
(出典：韓国・国立現代美術館ホームページ：
www.mmca.go.kr)

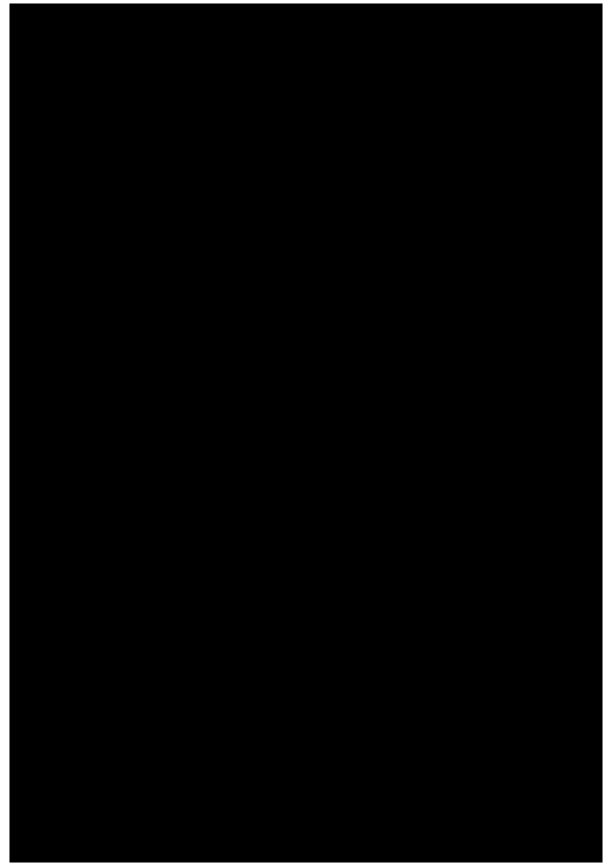


図14 邊時志 《絶島》 キャンバス、油彩
160×112cm 1981年
韓国・国立現代美術館蔵
(出典：韓国・国立現代美術館ホームページ：
www.mmca.go.kr)

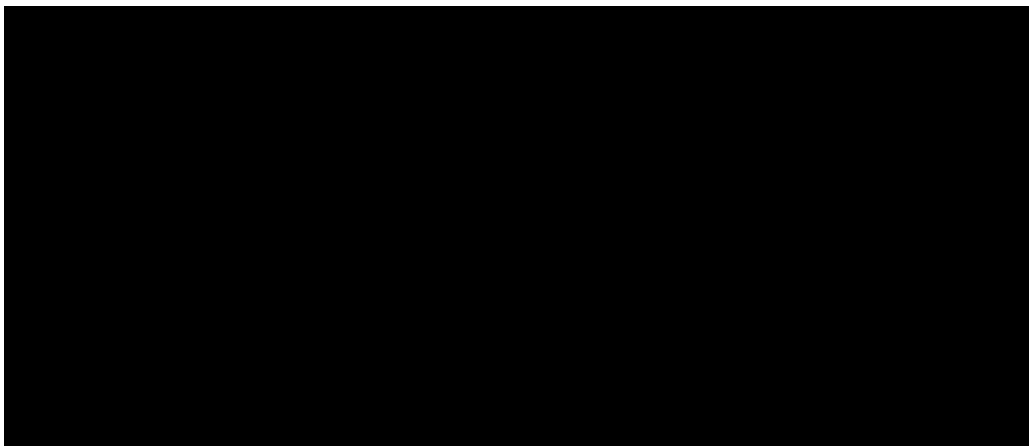


図15 秋史・金正喜 《歳寒図》 紙、墨 23×69.2cm 1844年 韓国・国立中央博物館蔵 韓
国・国宝第180号
(出典：韓国・国立中央博物館ホームページ www.museum.go.kr)

第4章 女子美術学校の朝鮮人留学生と、韓国と北朝鮮の刺繍美術

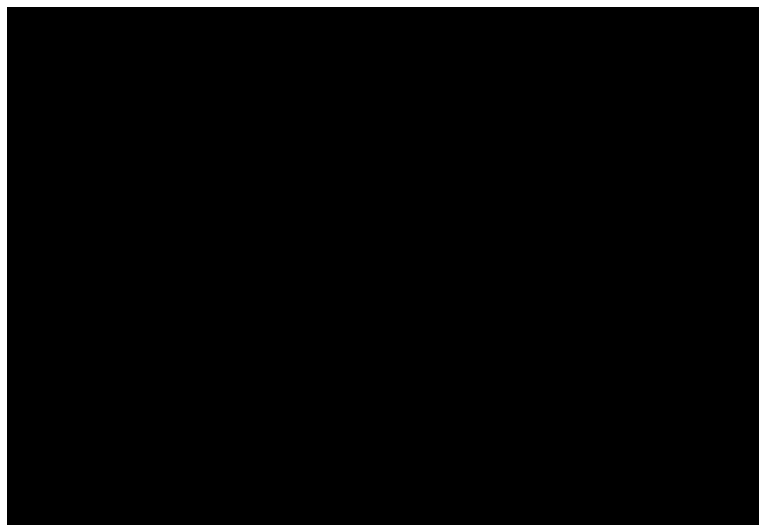


図1 私立女子美術学校・菊坂校舎の前景、1909年。
(出典：『女子美術大学略年史 女子美100年とその時代1900-2000』、
女子美術大学、2000年、26～27頁。)

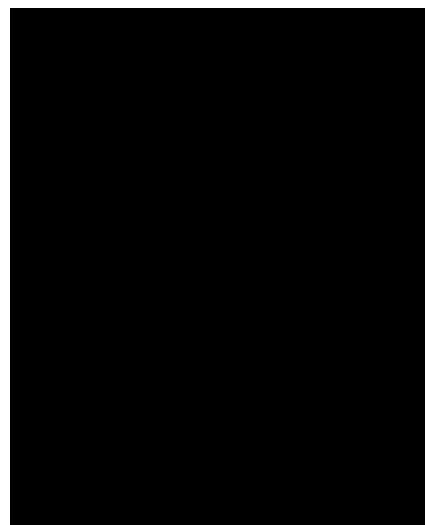


図2 「眼鏡箱」 朝鮮時代
韓国・淑明女子大学校博物館蔵

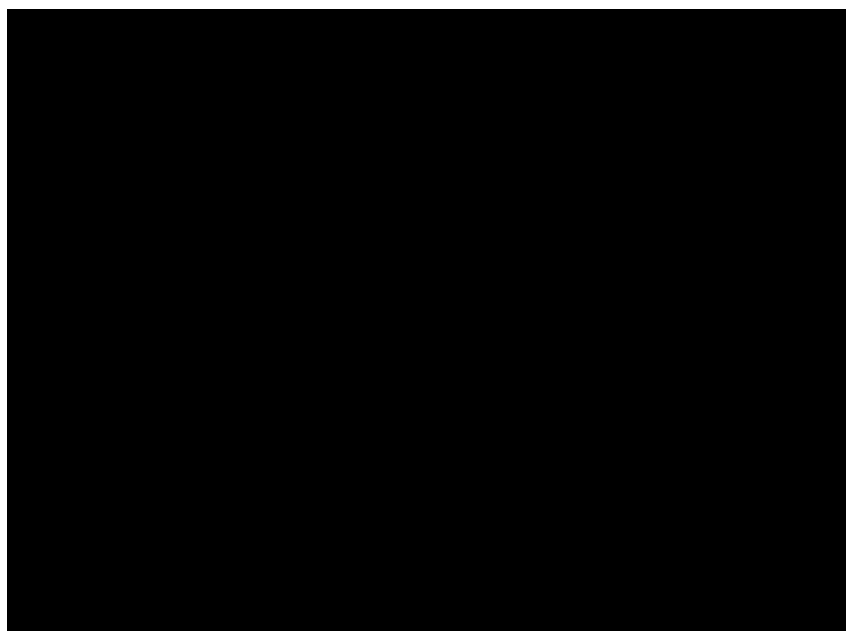


図3 教員免許状
(出典：『女子美術大学略年史 女子美100年とその時代1900-2000』、女子美術
大学、2000年、61頁。)

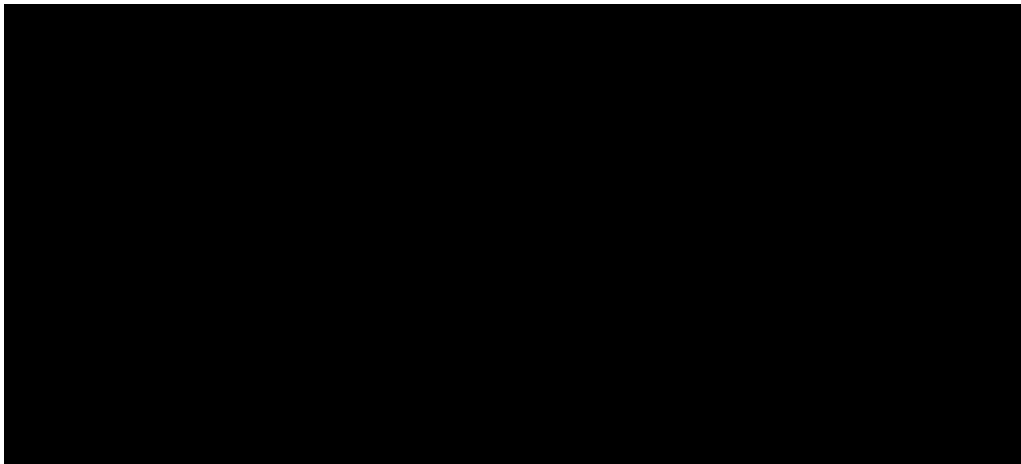


図4 「昭和期の種類繡123種」 女子美術大学美術館蔵

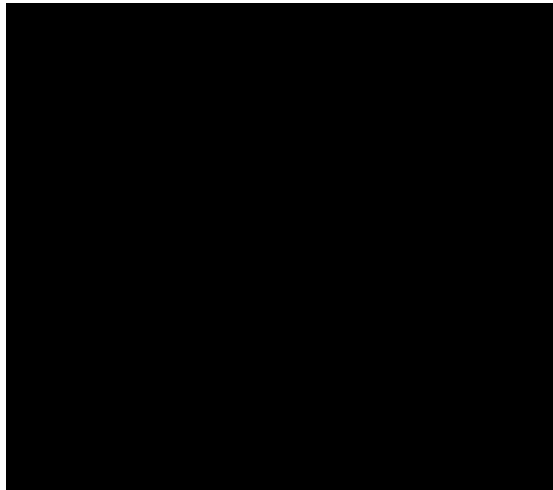


図5 平繡 「昭和期の種類繡123種」
女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)

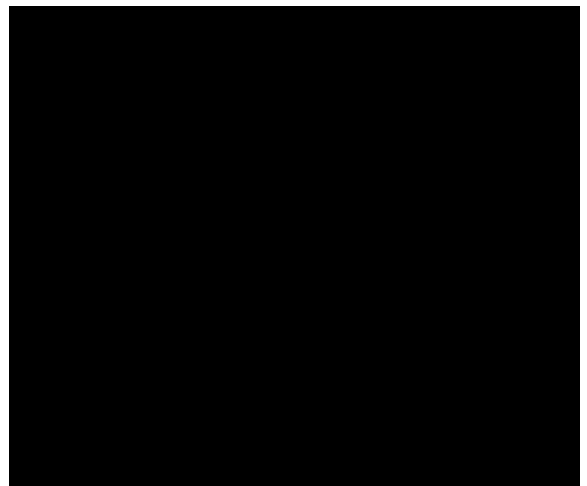


図6 駒繡 「昭和期の種類繡123種」
女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)



図7 「昭和期の種類繡123種」
女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)

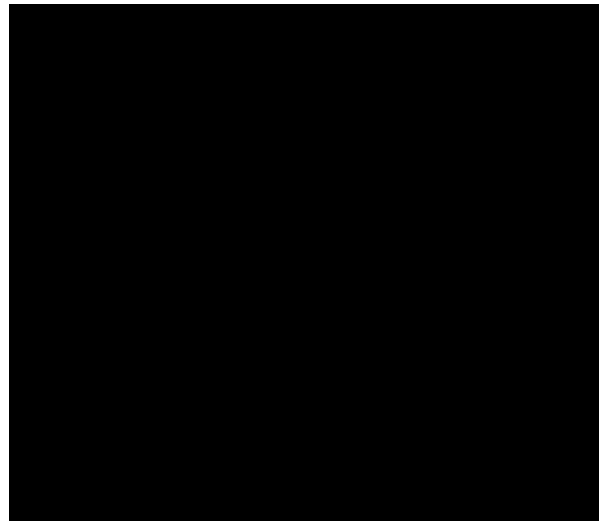


図8 チェインステッチ (chain stitch)
「昭和期の種類繡123種」
女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)

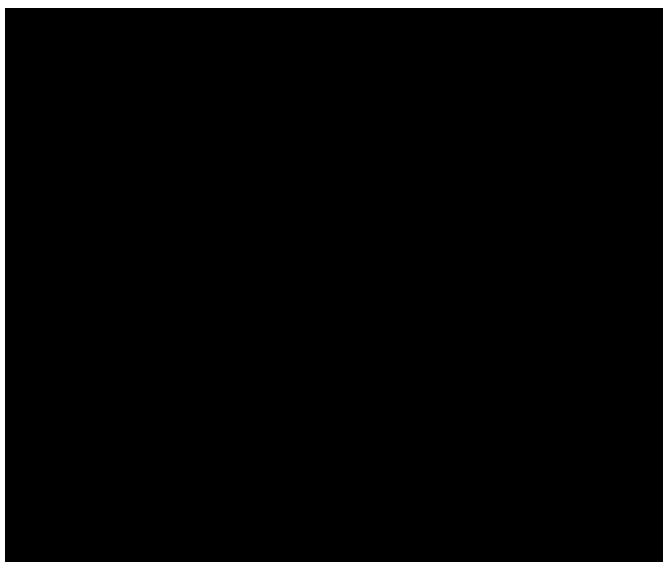


図9 尹貞植 《風景》 卒業制作 刺繡 約40×40cm
1929年 女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)



図10 金小伴禮 《風景》 卒業制作 刺繡
約40×30cm 1932年
女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)

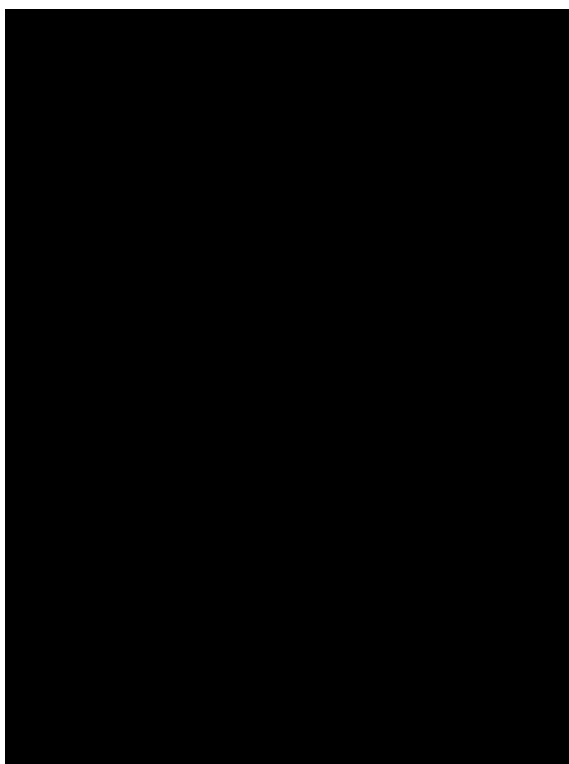


図11 結城素明 《孔雀図》 絹、彩色
85×82cm 1914年 女子美術大学蔵

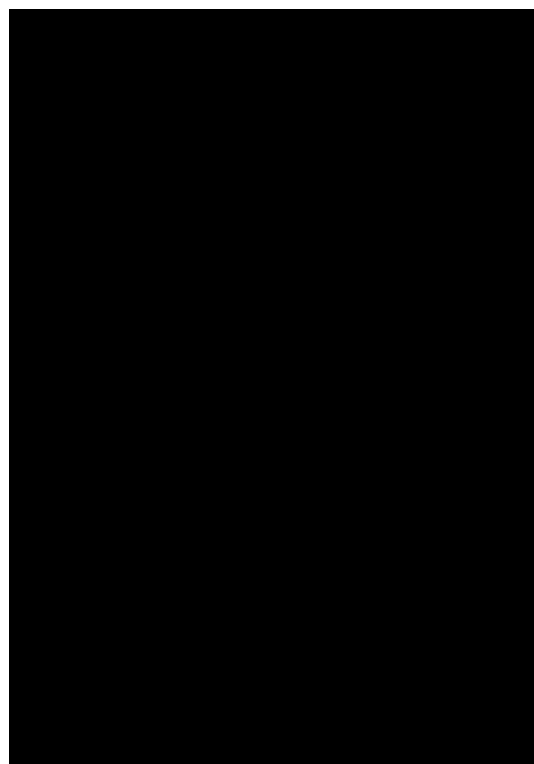


図12 女子美生徒作品 《孔雀図》 刺繡
92.2×67.4cm 1915年
女子美術大学蔵

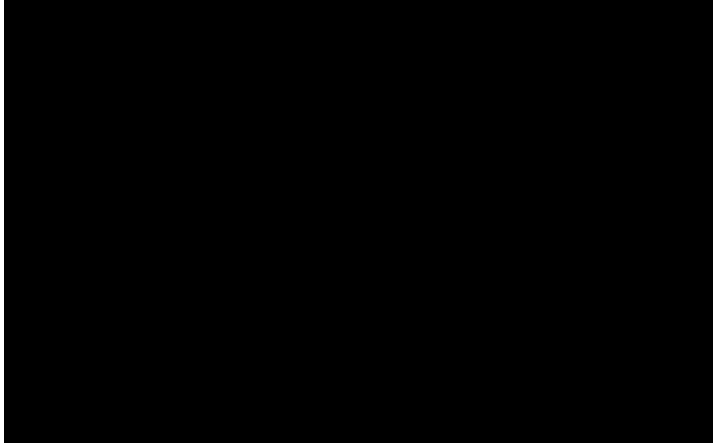


図13 「朝鮮手芸普及会」の広告記事に掲載された刺繍作品の図版
『東亜日報』1926年6月9日。

図14 「入選の栄光を得た美展の輝く女性たち」
『東亜日報』1938年6月3日。



図15 朴乙福 《菊花と鴛鴦(국화와 원앙)》
刺繍 128×120cm 第17回朝鮮美術展覧会
1938年 朴乙福刺繍博物館蔵

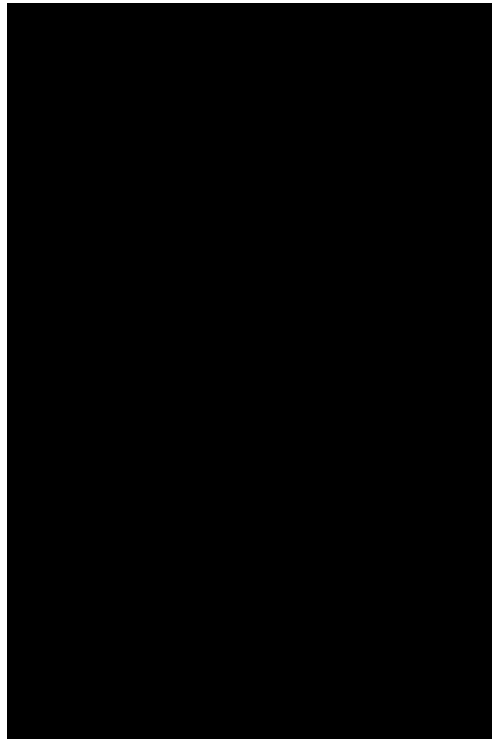


図16 イ・ヒョンスク 《刺繍孔雀》
第16回朝鮮美術展覧会 1937年
所在不明

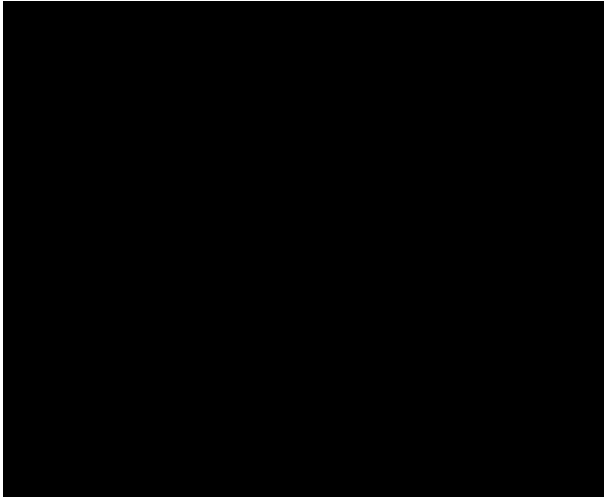


図17 朝鮮の伝統刺繍 「花嫁衣装（할옷）の背面」
シカゴフィールド博物館蔵
(出典：クォン・ヘジン (권혜진) 「韓国近代刺繍文化研究」『服飾』第63輯第8号、韓国服飾学会、2013年)

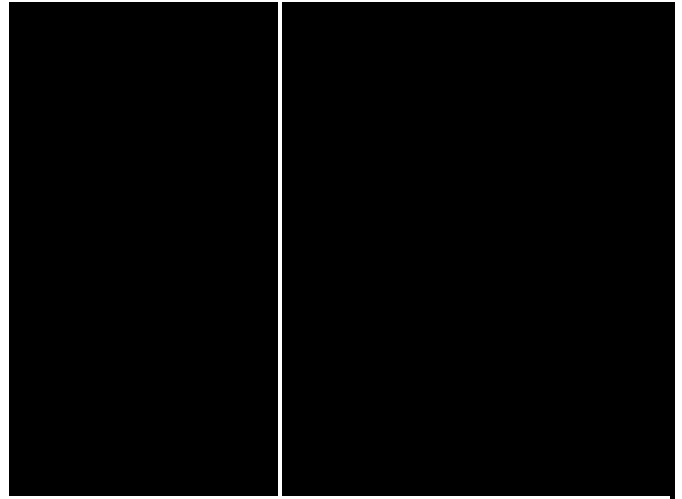


図18 朝鮮の近代刺繍 「花嫁衣装（할옷）の背面」
清州大学校博物館蔵
(出典：クォン・ヘジン (권혜진) 「韓国近代刺繍文化研究」『服飾』第63輯第8号、韓国服飾学会、2013年)

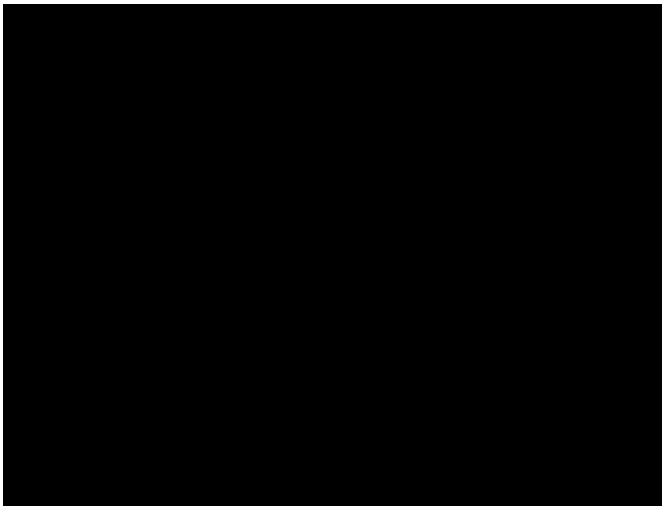


図19 「昭和期の種類繡123種」 女子美術大学美術館蔵
(2011年夏、筆者撮影)

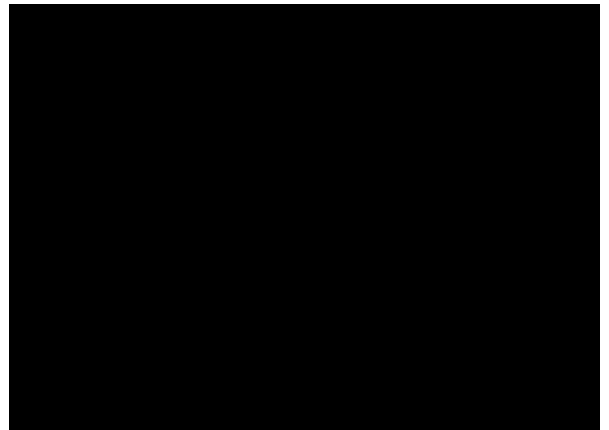


図20 女子美出身の張善禧に刺繍を学んでいる梨花女子大学校第1期生のキム・ヘギョン (後の同校教授) 1949年
(出典：『月刊美術』2003年4月号、(株)月刊美術、118頁。)

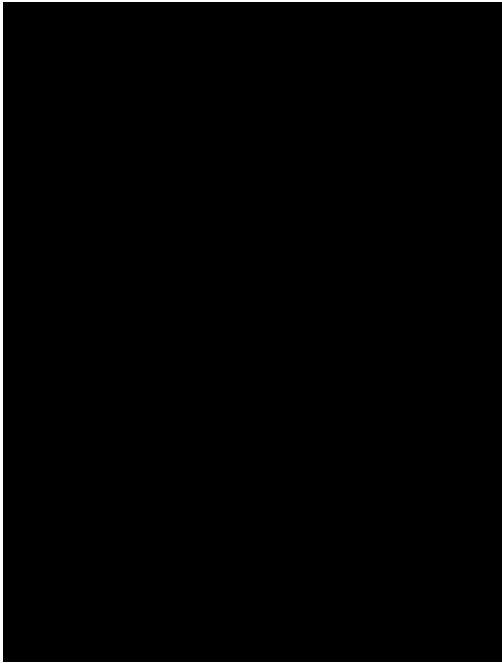


図21 キム・ヘギョン(김혜경)《静夜》 梨
花女子大卒業制作 刺繍
92×66cm 1949年 個人蔵

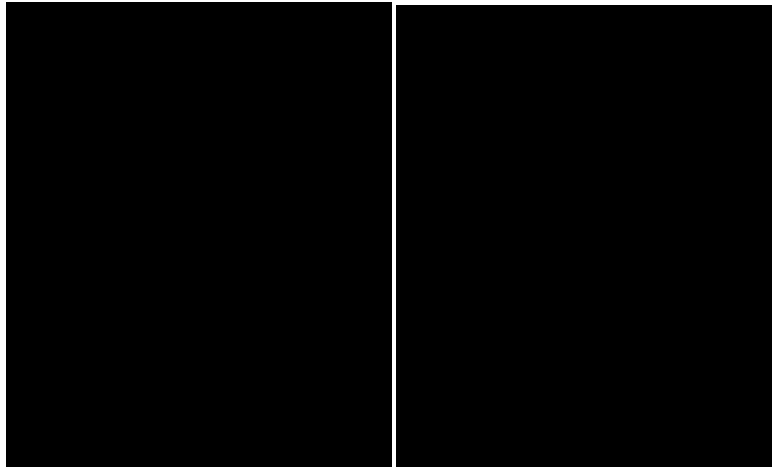


図22 朴乙福 《表情》 刺繍 92×110cm 1964年
朴乙福刺繍博物館蔵

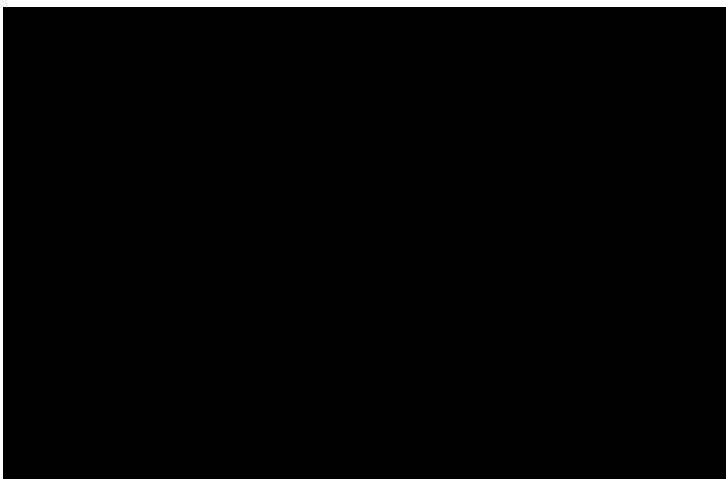


図23 刺繍をしている萬壽臺創作社所属の手芸家
(出典： Jane Portal『統制下の北朝鮮の芸術 (통제하의 북한 예술)』 高陽：ギルサン (길산) 2005年。)



図24 リ・ウォンイン (리원인)
《虎 (호랑이)》 刺繍
180×97cm 1965年



図25 リ・ウォンイン (리원인)、
シン・ジョンシム (신정심)
《金正日花と金日成花 (김정일화와
김일성화)》 刺繍 103×68cm
2004年
(出典：萬壽臺創作社ホームページ：
www.mansudaartstudio.com)



図26 北朝鮮の1ウォンのコイン
(出典：「北朝鮮コインにある5つの花と金
日成家の権力 (북한 동전에 숨겨진 5개의
꽃과 김일성 가문권력) 『プレミアム朝鮮
(프리미엄조선)』 2013年12月2日。)

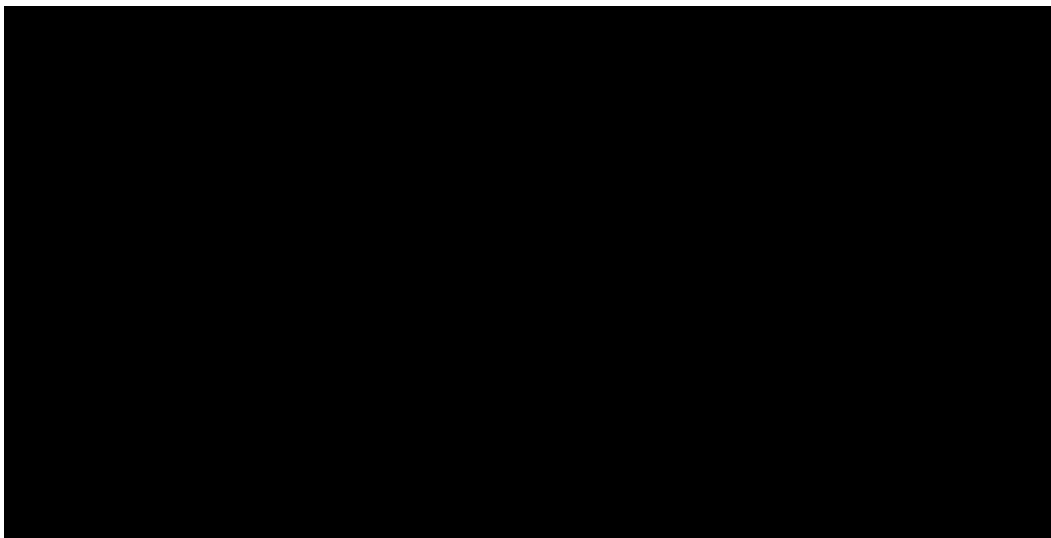


図27 萬壽臺創作社手芸団 《月夜の雁 (달밤의 기러기)》 刺繍 サイズ不明 1978年
所在不明
(出典：光州ビエンナーレ「人+間 (MAN+SPACE)」特別展「北朝鮮美術の昨日と今日
(북한미술의 어제와 오늘)」展図録、2000年)

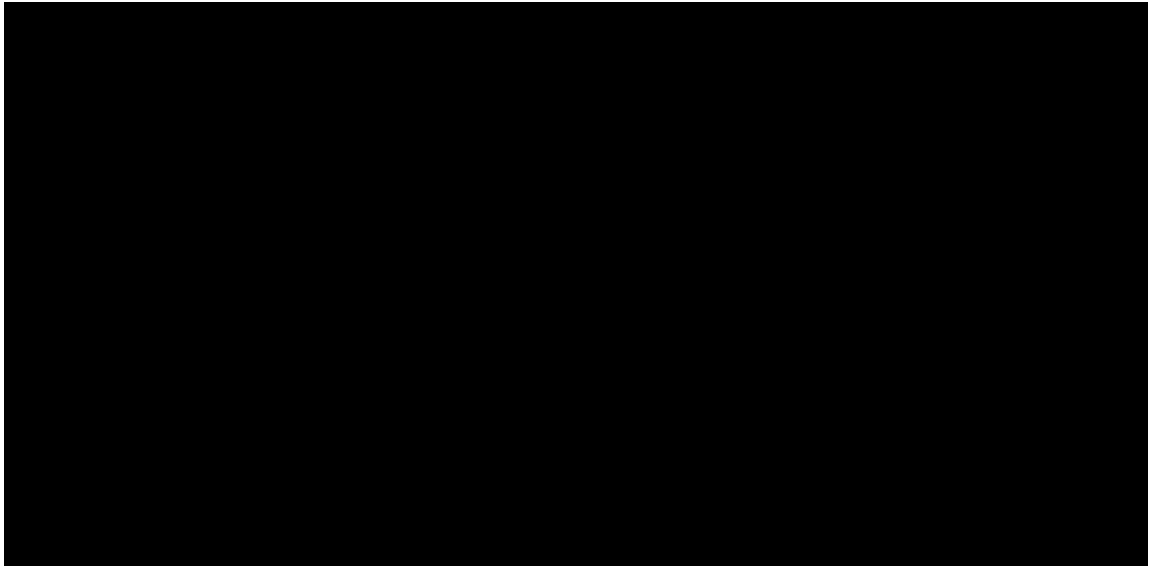


図28 Kim Chong Hui 《Wild Geese in Moonlit Night》 刺繍 66×137cm 1999年 所在不明
(出典：萬壽臺創作社ホームページ： www.mansudaartstudio.com)



図29 萬壽臺創作社手芸団
《モナリザ (모나리자)》 刺繍
サイズ・所在不明 1999年
(出典：光州ビエンナーレ「人+間 (MAN+SPACE) 特別展「北朝鮮美術の昨日と今日 (북한미술의 어제와 오늘)」展図録、2000年)

第5章 美術留学生の群像：帝国美術学校、太平洋美術学校の資料から

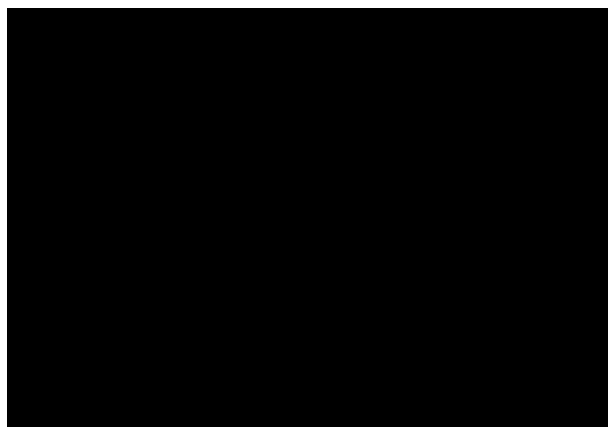


図1 帝国美術学校の朝鮮人同窓生記念写真、1939年
(出典：韓国近現代美術記録研究会編著『帝国美術学校と朝鮮人留学生たち1929-1945 (제국미술학교와 조선인유학생들 1929-1945)』ソウル：ヌンピッ (눈빛)、2004年)

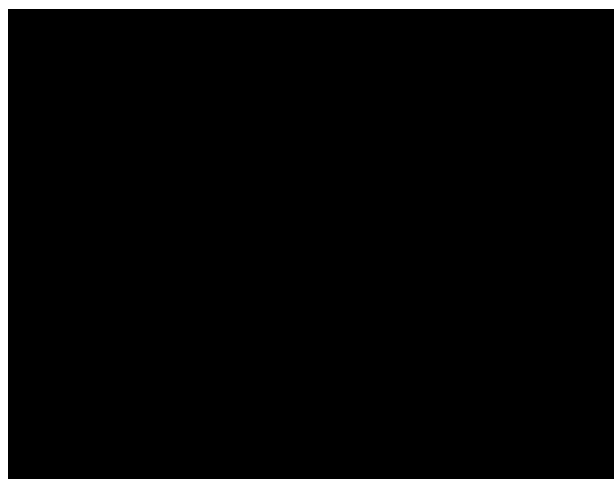


図2 高島達四郎 《富士》 キャンバス、油彩
31.9×41.1cm 1943年
フジヤマミュージアム蔵

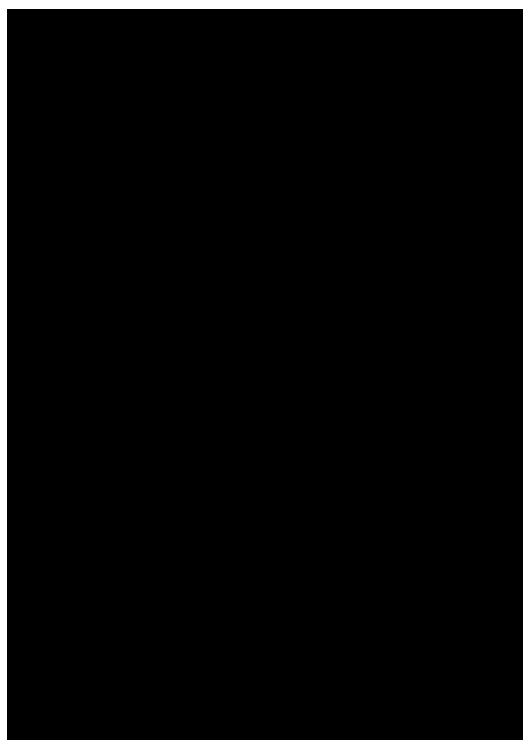


図3 張旭鎮 《自画像》 紙、油彩
14.8×10.8cm 1951年 遺族蔵

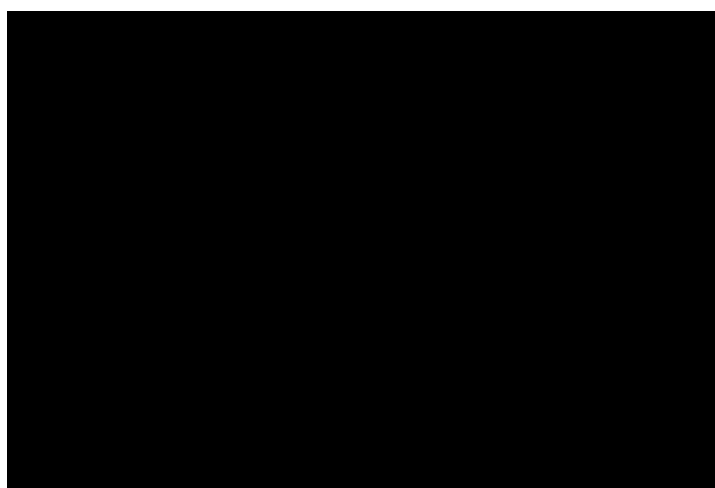


図4 中野和高 《無題》 キャンバス、油彩 181.5×271cm
1930年 宮城県美術館蔵

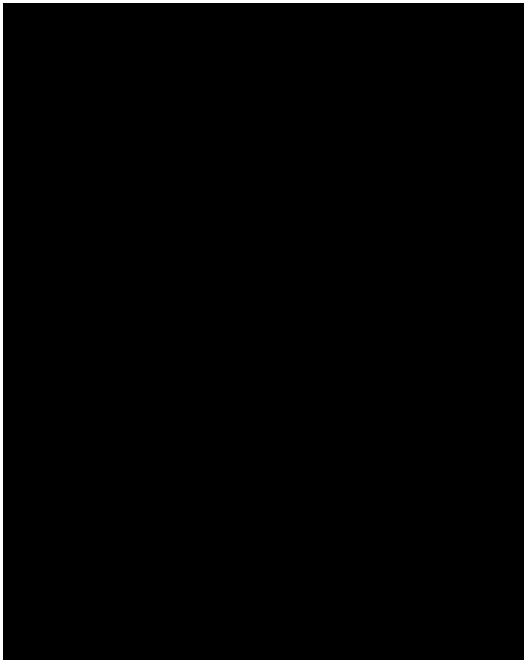


図5 金斗煥 《童心》 キャンバス、油彩
90.5×72.5cm 1939年
韓国・国立現代美術館蔵

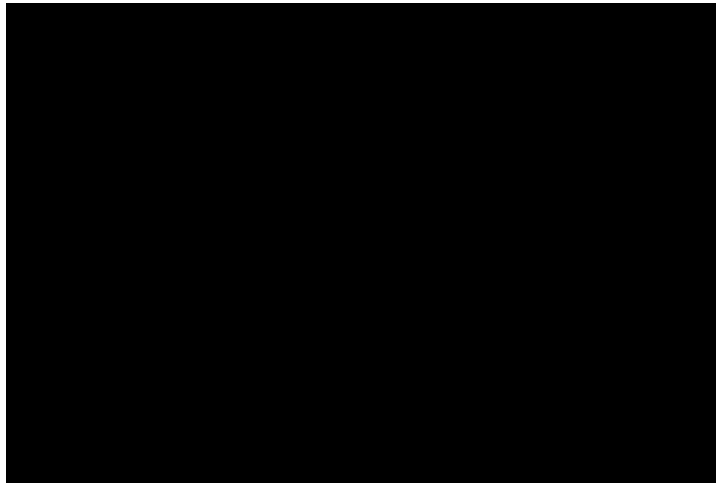


図6 朴相玉 《閑日》 キャンバス、油彩 112×193cm
第3回国展（大統領賞受賞） 1954年
中央公務員教育院蔵



図7 2012年現在の太平洋美術会研究所
(東京都荒川区西日暮里3丁目7-29)、筆者撮影

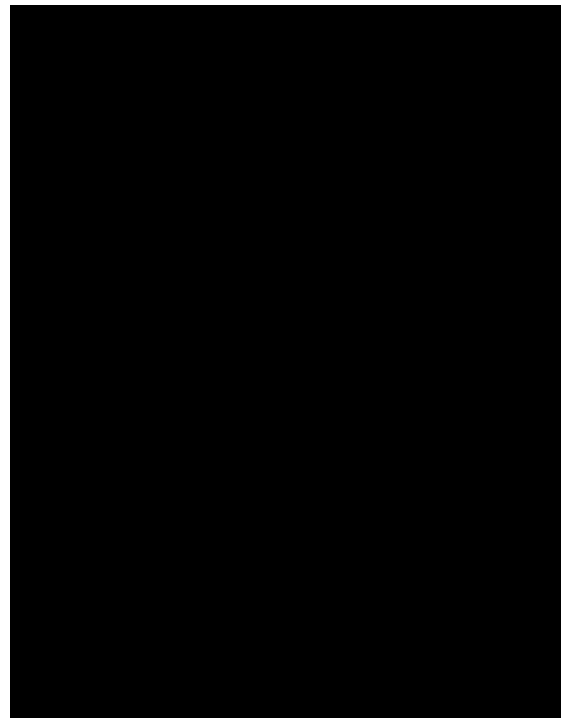


図8 中村不折 《八重の潮路》
キャンバス、油彩 92.5×73.0cm
1906年 府中市美術館蔵

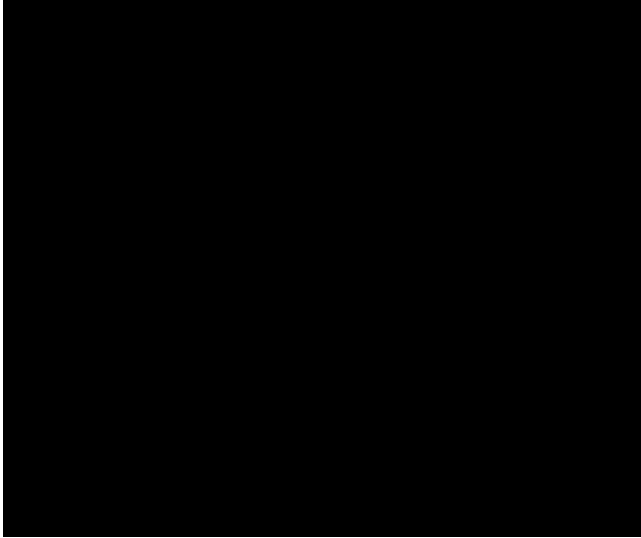


図9 黒田清輝 《湖畔》 キャンバス、油彩 69×84.7cm
1897年 東京文化財研究所蔵

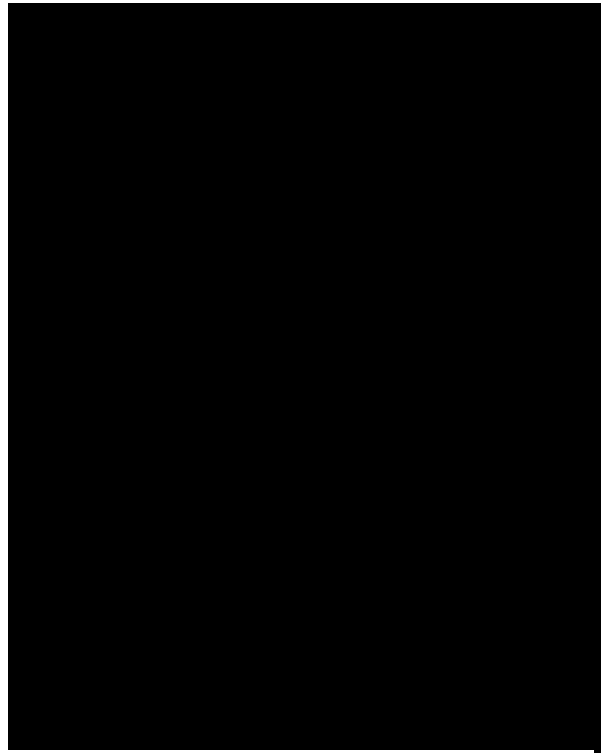


図10 朴得鎔 《裸婦》 キャンバス、油彩
130×97cm 1960年 個人蔵

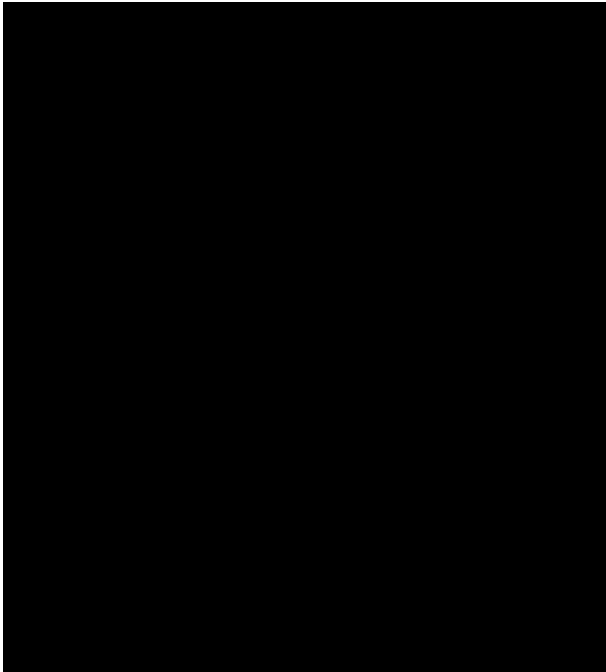


図11 具本雄 《女子》 キャンバス、油彩
50×38cm 1930年 韓国・国立現代美術館蔵

第6章 張勃—韓国近現代史の渦中にいた美術行政・美術教育家



図1 張勃 《聖アンドレア金大建司教の肖像
(성 안드레아 김대건신부의 초상)》
キャンバス、油彩 60.5×50cm 1920年
ソウル明洞教会蔵

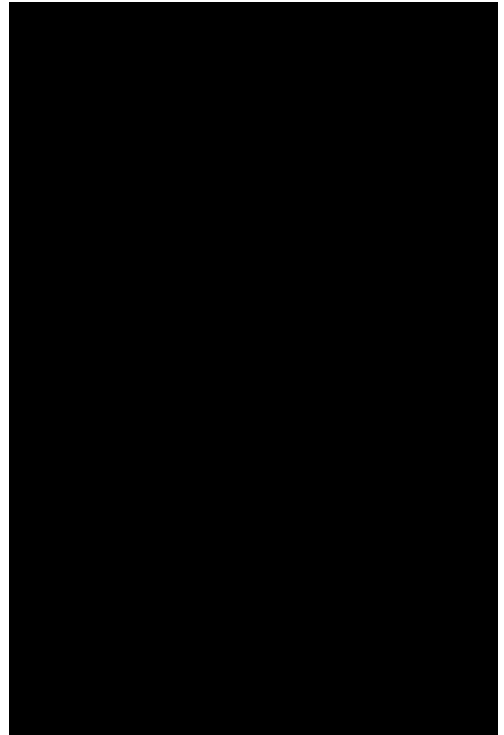


図2 張勃 《聖女・金コルムキルとアネス
姉妹 (성녀 김골롬바와 아네스 자
매)》キャンバス、油彩
69.5×46.5cm 1925年
韓国・切頭山殉教記念館蔵

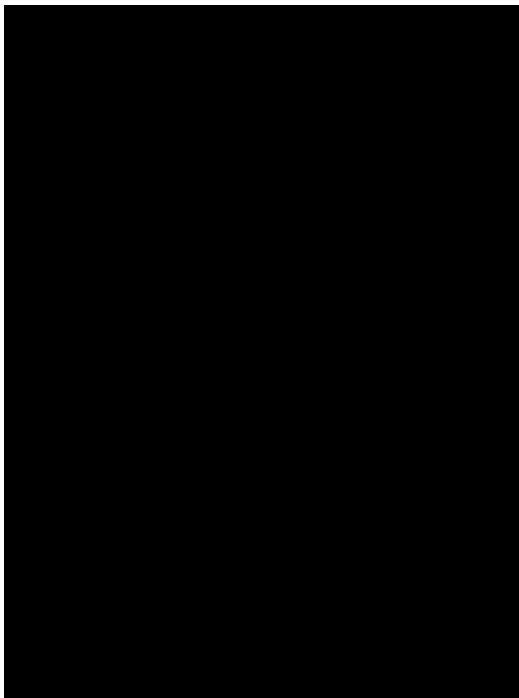


図3 アメリカ留学時代。
後列左から張勃、兄・張免。
前列左から妹・張貞溫、親戚・金教任。

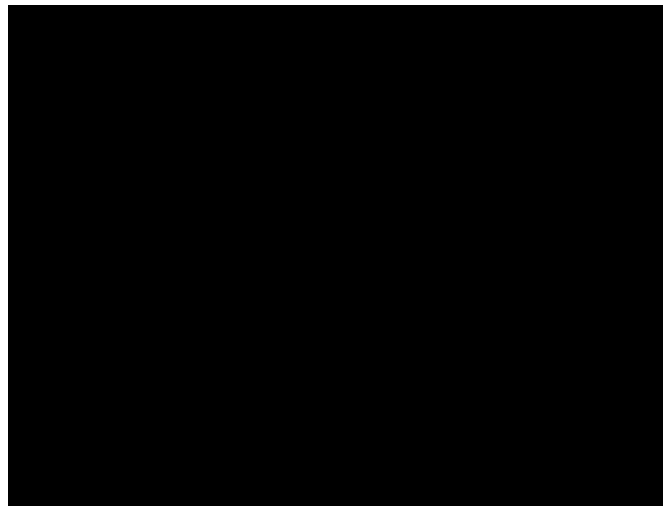


図4 校内展で伝統絵画作品を説明する張勃。
(出典：『崔景漢口述録取文』、ソウル：サムスン・リウム
美術館・韓国美術記録保存所、2006年、162頁。)

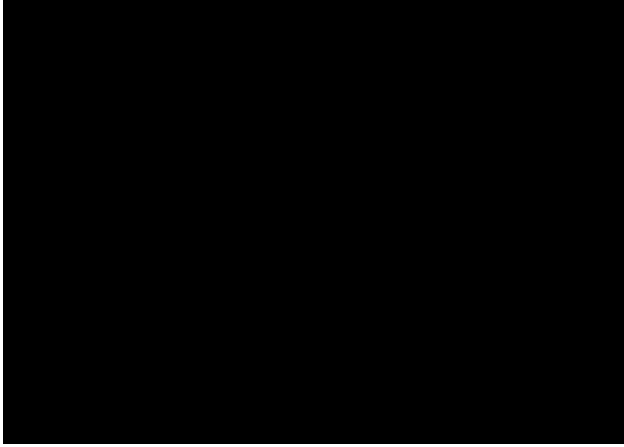


図5 ソウル大学校美術大学の「写真」授業。1953年春。
左端が講師の林應植。
(出典：『崔景漢口述録取文』、ソウル：サムスン・リウム美術館・韓国美術記録保存所、2006年、164頁。)



図6 当時の学生・崔景漢の撮影写真。
(出典：『崔景漢口述録取文』、ソウル：サムスン・リウム美術館・韓国美術記録保存所、2006年、166頁。)

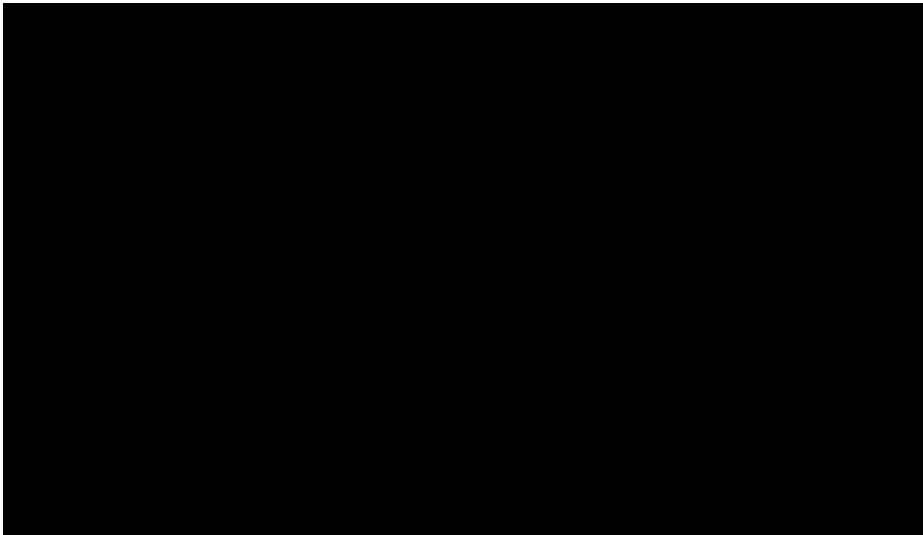


図7 尹潑善と張免のソウル大学校美術大学訪問写真、1950年代後半。
前列左から3番目、4番目が尹潑善夫婦、5番目、6番目が張免夫婦、そして2列目の左から6番目が張勃。
(出典：鄭榮沐「張勃評伝、1946-1953」『造形 アーカイブ (조형 아카이브)』第2号、ソウル：ソウル大学校造形研究所、2010年)

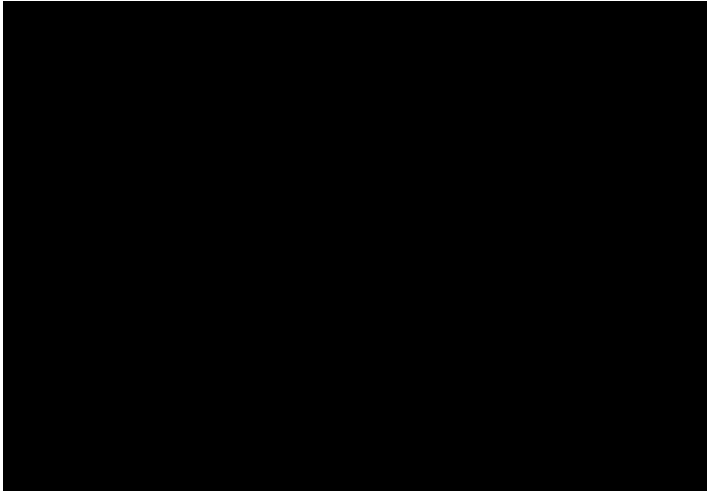


図8 1961年4月10日の張勃の還曆記念式
 (出典：『大学新聞写真で見えるソウル大学校50年(대학신문 사진으로 보는 서울대학교 50년)』ソウル：ソウル大学校大学新聞社、2004年)



図9 「張勃學長の回甲を迎えて(장박학장 회갑맞아)」
 (出典：『ソウル大学校大学新聞』ソウル大学校大学新聞社、1961年4月13日)



図10 「大学整備をする一革命の一翼担当を頼む
 (대학정비하겠다-혁명의 일익담당을 당부)」
 (出典：『ソウル大学校大学新聞』ソウル大学校大学新聞社、1961年6月12日)

第7章 金煥基—「韓国的」な造形と政治からの自由

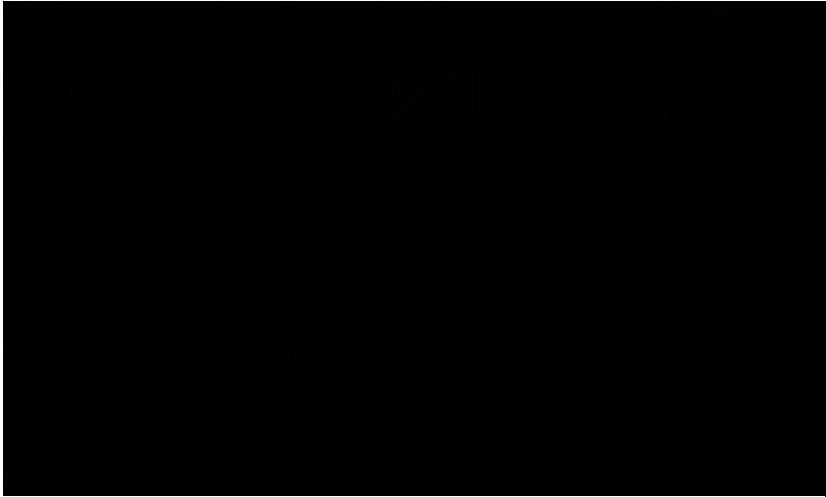


図1 藤田嗣治の家を訪問したアバンギャルド洋画研究所の学生たち。
1930年代半ば。
*最後列の左から2人目に金煥基、4人目に吉鎮燮。最前列の左から2人
目がオノサトトシノブ、6人目が藤田嗣治。

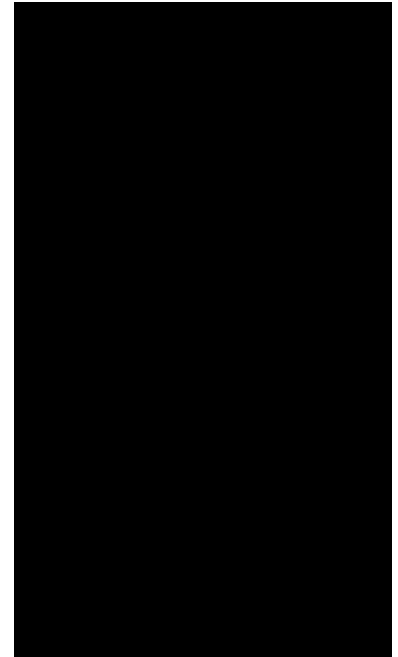


図2 金煥基 《ひばりが歌う
時 (중달새 노래할 때)》
キャンバス、油彩 178×127cm
第22回二科展 1935年
所在不明

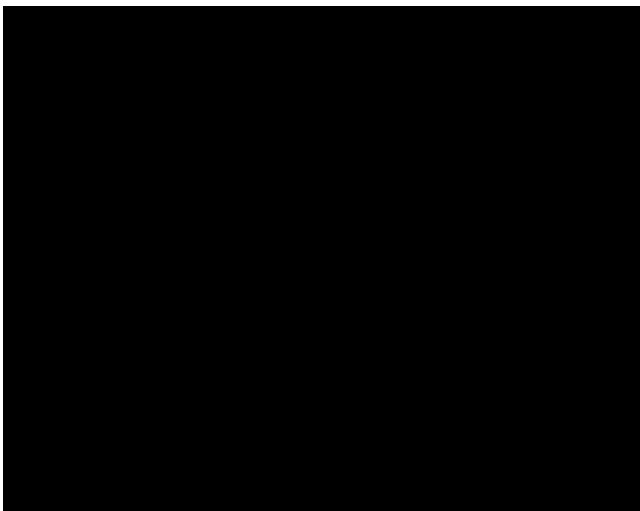


図3 金煥基 《家 (집)》 キャンバス、油彩
22×27cm 1936年 個人蔵

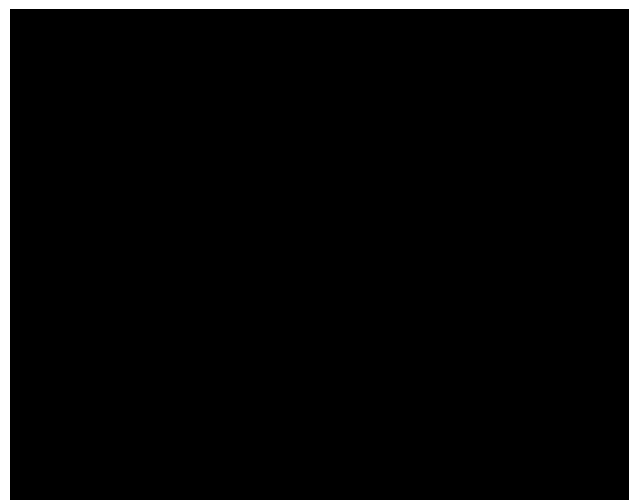


図4 金煥基 《島のものがたり (섬 이야기)》
キャンバス、油彩 第4回自由美術家協会
1940年 サイズ・所在不明



図5 オノサトトシノブ 《朱と黄の丸》 板、油彩
31.8×41cm 1939-40年 東京国立近代美術
館蔵



図6 金煥基 《ロンド (문도)》
キャンバス、油彩 60.7×72.6cm
第2回自由美術家協会展 1938年
韓国・国立現代美術館蔵

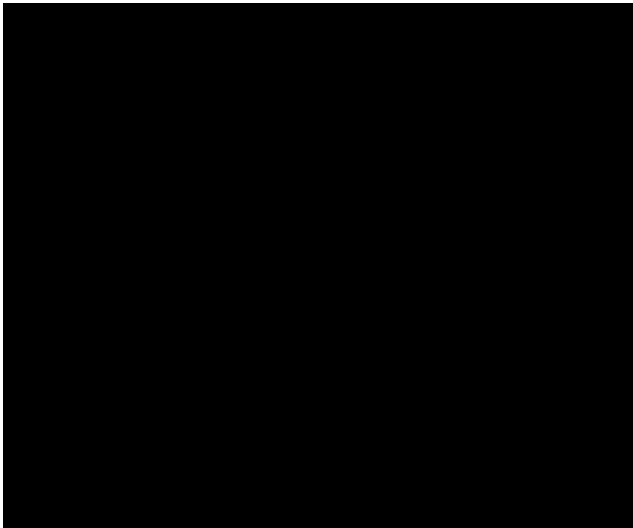


図7 村井正誠 《CITE》 キャンバス、油彩
60.5×73cm 1938年 東京国立近代美術館蔵

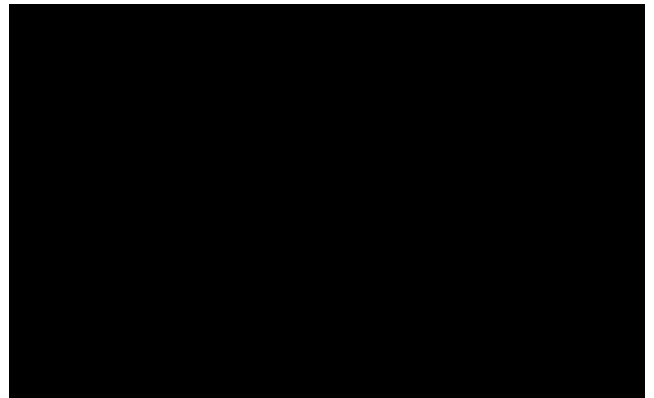


図8 東京の村井のアトリエで。1938年
右から金煥基、吉鎮燮、村井夫妻



図9 金煥基 《壺 (항아리)》キャンバス、油彩 65×80cm
1955～56年 個人蔵

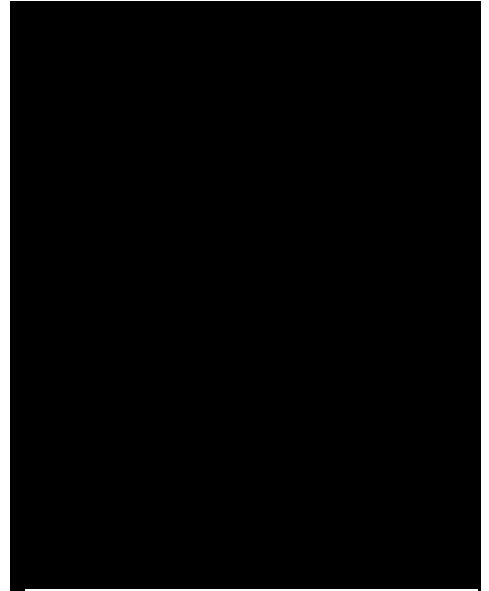


図10 金煥基 《石窟庵の印象
(석굴암의 인상)》
キャンバス、油彩 41×31.5cm
1952年 個人蔵



図11 金煥基 《壺 (항아리)》キャンバス、油彩
50×60.6cm 1958年 個人蔵

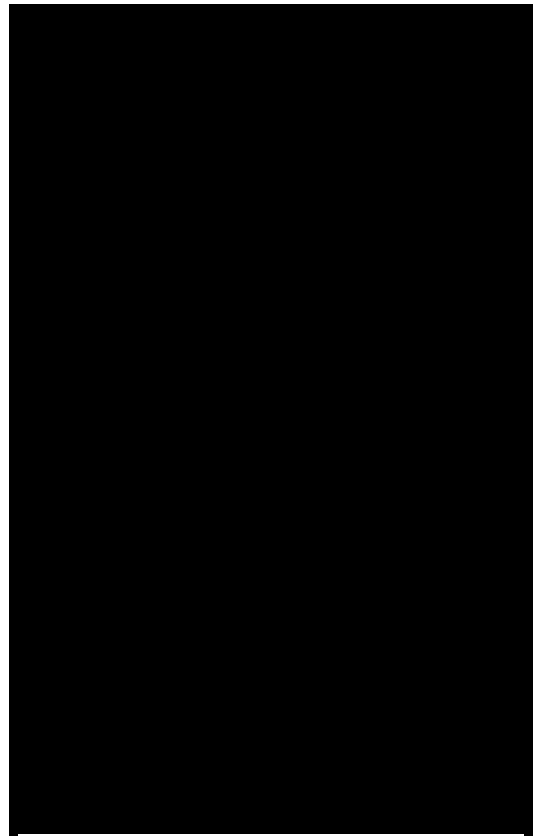


図12 金煥基 《壺 (항아리)》
キャンバス、油彩 62×39cm
1958年 個人蔵

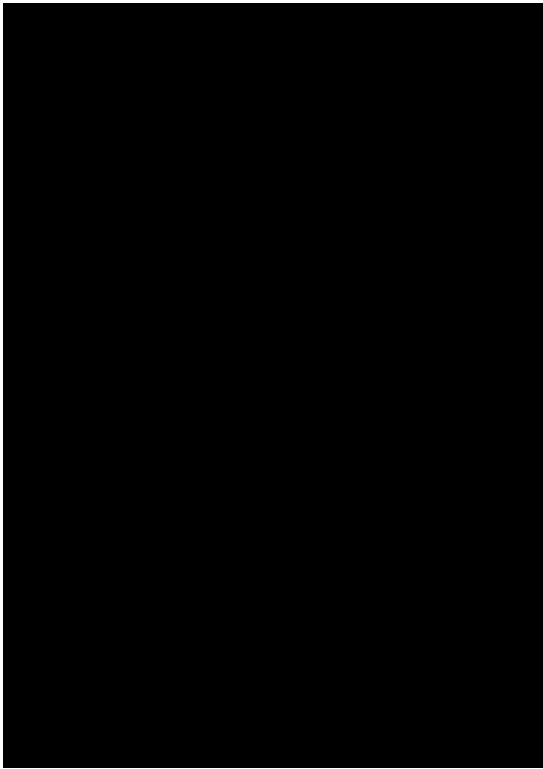


図13 金煥基 《VII-65》
キャンバス、油彩 177×124cm 1965年
煥基美術館蔵

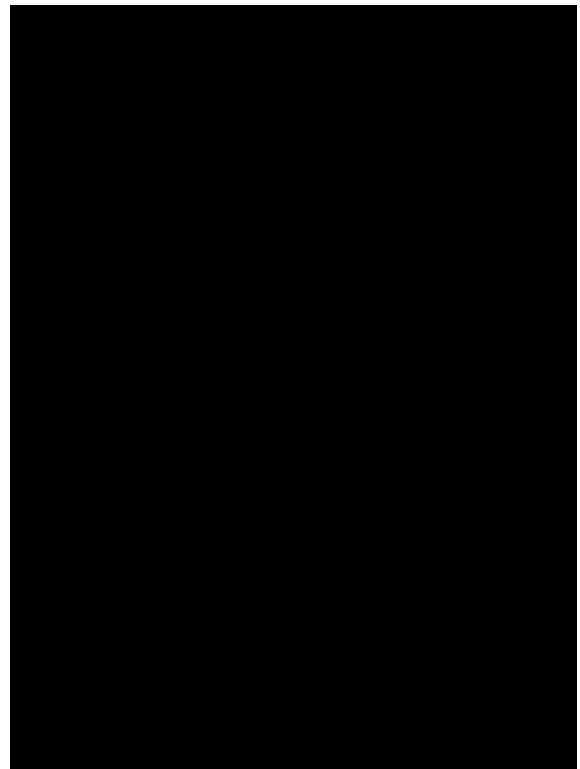


図14 金煥基 《どこで何になってまた会うか
(어디서 무엇이 되어 다시 만나라)》
キャンバス、油彩 236×172cm 1970年
個人蔵

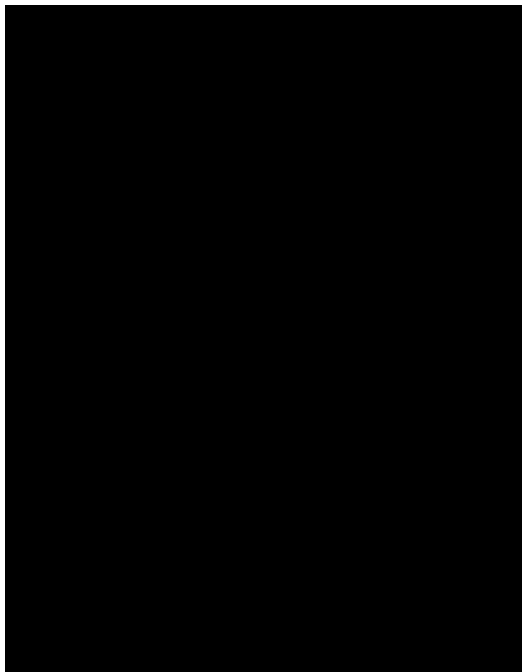


図15 金煥基
《Tranquillity 5-IV-73 #310》
綿、油彩 261×205cm 1973年

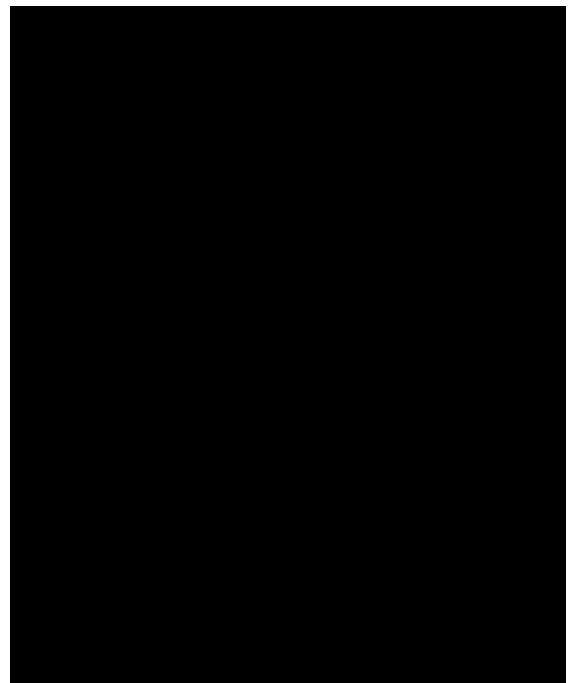


図16 朴栖甫 《描法No. 5-73》
キャンバス、油彩 162×130cm 1973年
栖甫美術文化財団



図17 第56回ベネチアビエンナーレでの並列展示「単色画 (Dansaekhwa)」展
(2015. 5. 8～8. 15) 金煥基作品の展示光景
(出典：『月刊美術』2015年6月号、(株)月刊美術)

第8章 全和風－朝鮮人のアイデンティティを造形源とした在日朝鮮人美術家

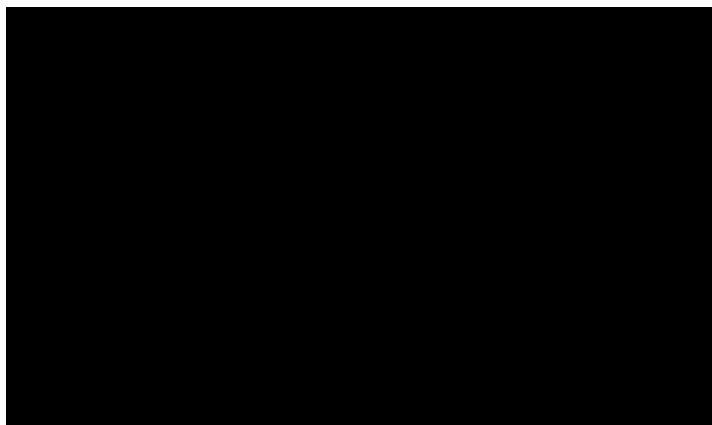


図1 全和風 《戦争の落伍者 (전쟁의 낙오자)》
キャンバス、油彩 97.0×161.0cm 1960年
光州市立美術館蔵



図2 全和風美術館の現在の様子、
京都市山科区日ノ岡一切経谷町7
(2013年2月19日、筆者撮影)

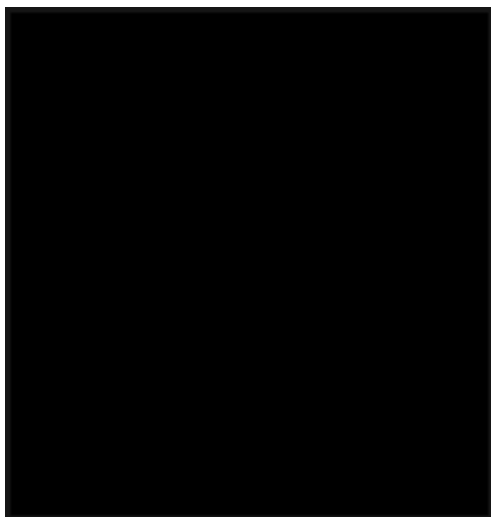


図3 全和風の小説集『カンナニの埋葬』
(黎明社、1957年) 冒頭ページ

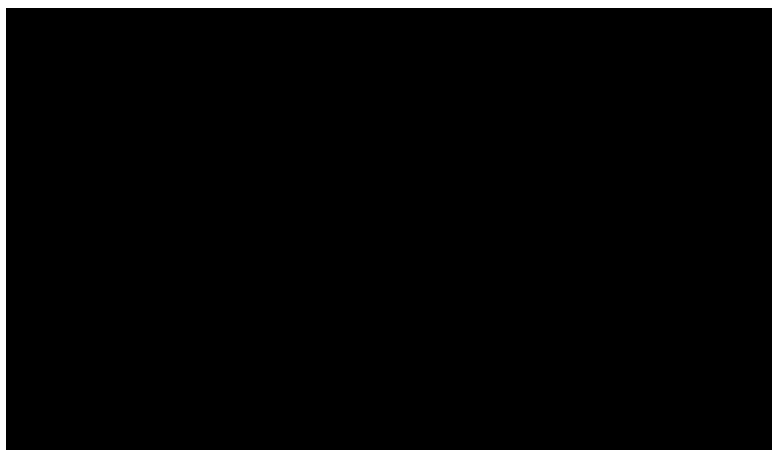


図4 須田国太郎 《発掘》 キャンバス、油彩 110.0×191.5cm
1930年 京都大学人文科学研究所蔵



図5 全和風 《再会—カンナニの復活
(재회-갓난이의 부활)》キャンバス、油彩
130.8×160.0cm 第8回行動美術展覧会
1953年(1981年に再制作)
光州市立美術館蔵

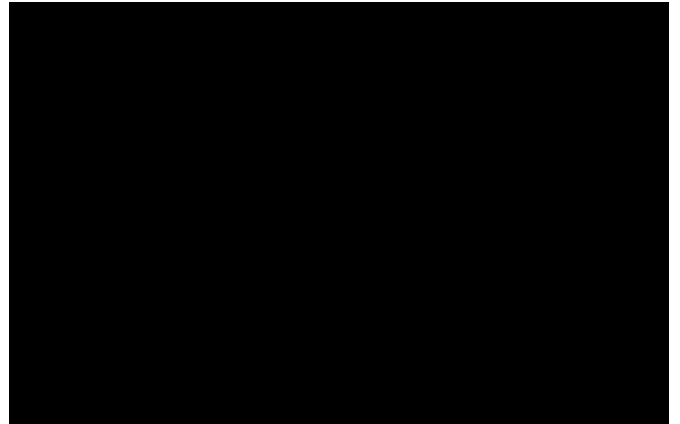


図6 全和風 《ある日の夢—銃殺》キャンバス、油彩
128.0×191.0cm 第5回行動美術展覧会 1950年
京都市美術館蔵

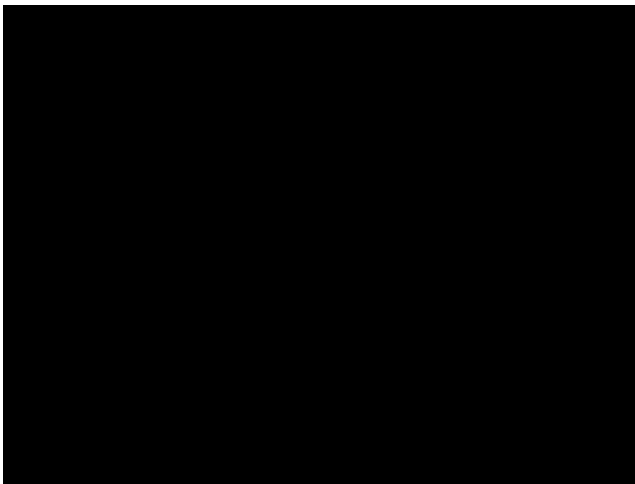


図7 全和風 《群像(군상)》キャンバス、油彩
130.1×161.5cm
第6回行動美術展覧会(行動美術賞)
1951年(1981年に再制作) 光州市立美術館蔵

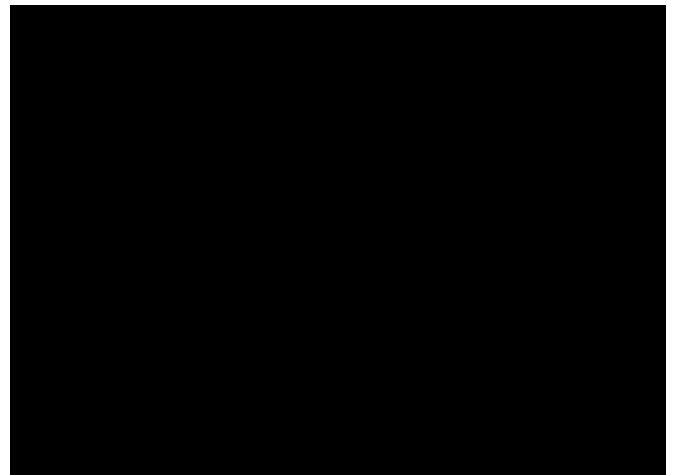


図8 全和風 《カンナニの埋葬》
第7回行動美術展覧会 1952年 所在不明
(出典：『第7回行動美術展覧会カタログ』、1952年)

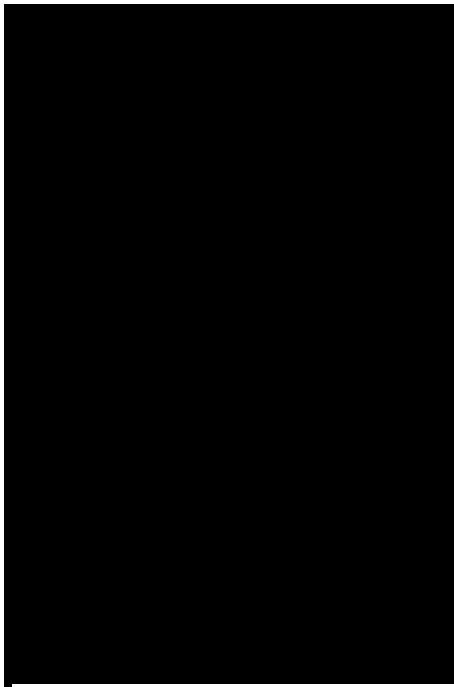


図9 山本正道 《開拓農民A》
第9回行動美術展覧会
1954年 所在不明
(出典：『第9回行動美術展覧会カタログ』、1954年)



図10 『第20回行動美術展覧会カタログ』、1965年

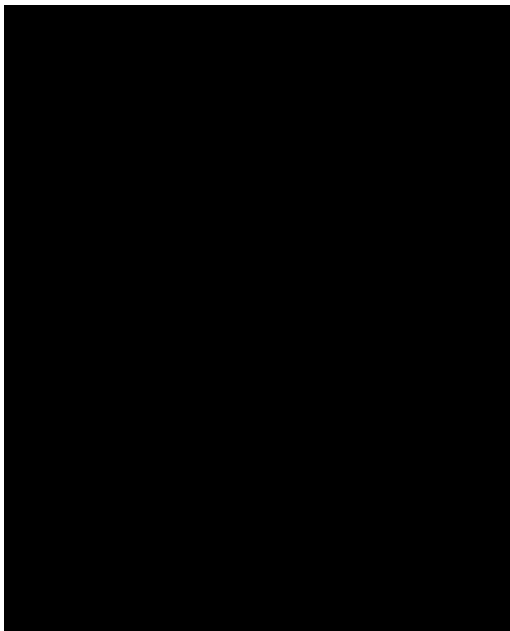


図11 全和風 《幻想二題》
第24回行動美術展覧会 1969年
所在不明
(出典：『第24回行動美術展覧会カタログ』、1969年)

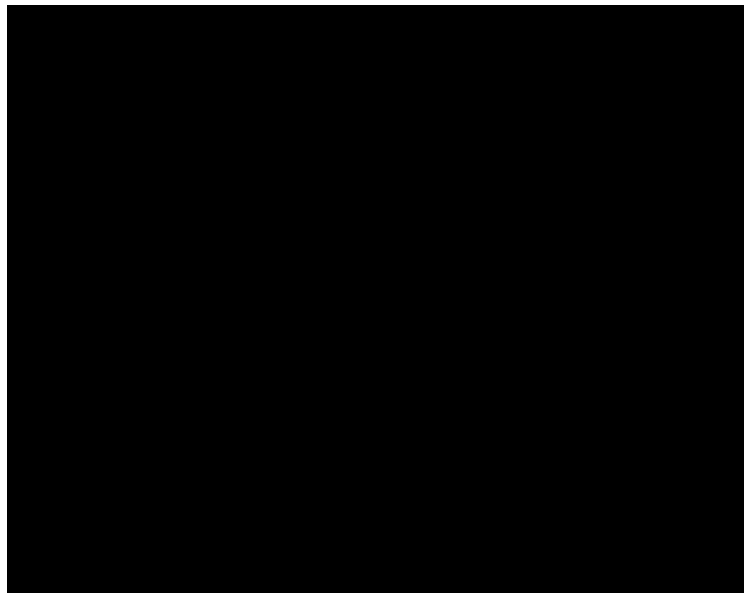


図12 平山郁夫 《入涅槃幻想》 紙、彩色 178.5×224.0cm
1961年 東京国立近代美術館蔵



図13 全和風『カンナニの埋葬』表紙
(黎明社、1957年)



図14 全和風 《二つの太陽 (두 개의 태양)》
キャンバス、油彩 60.0×71.8cm 1968年
光州市立美術館蔵



図15 全和風 《春香の再会 (춘향의 재회)》
キャンバス、油彩 130.0×161.8cm 1978年
光州市立美術館蔵

第9章 真鍋英雄-日本人として生きた知られざる在日朝鮮人美術家

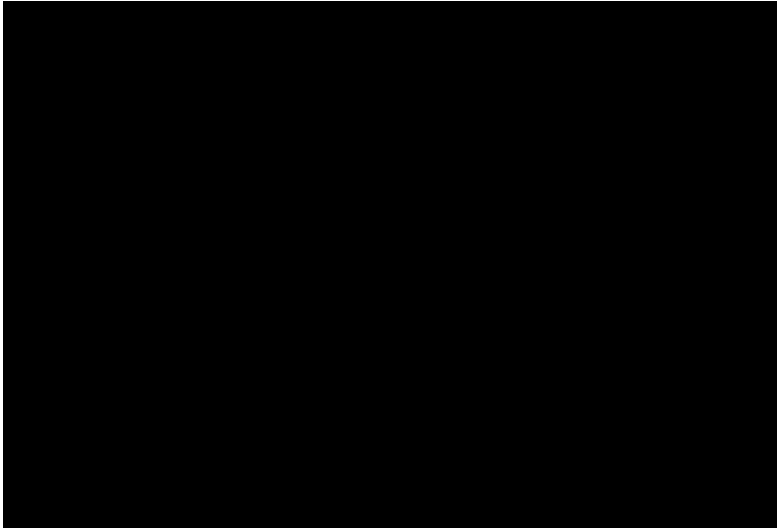


図1 福沢一郎絵画研究所の夏期講習会集合写真 1937年8月
* 最前列左から3人目が真鍋英雄、中列左から4人目が福沢一郎、
最後列左から11人目、瀧口修造
(出典:「福沢一郎絵画研究所」展図録、板橋区立美術館、2010年)

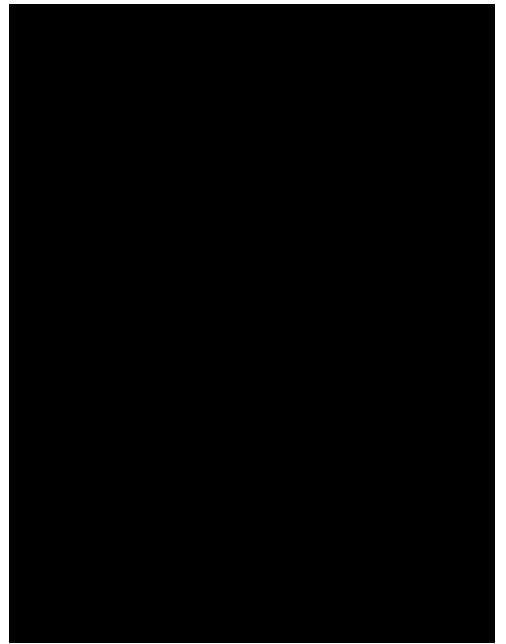


図2 真鍋英雄 《父・金聲培の肖像画》
キャンバス、油彩 サイズ不明
1933年 韓国遺族・金泰善氏所蔵

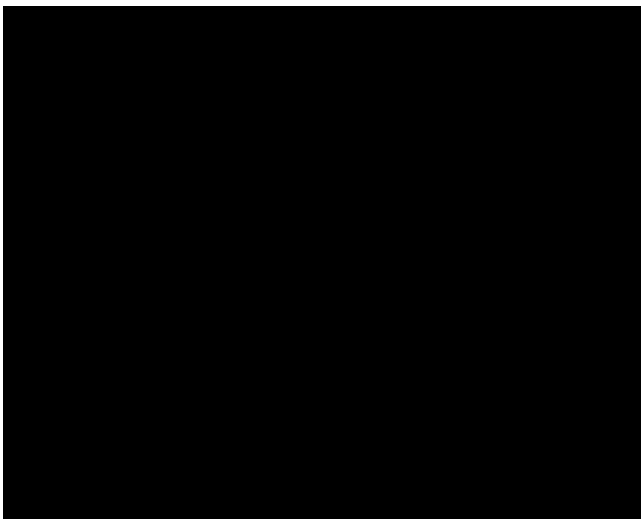


図3 真鍋(金子)英雄 《水辺》 キャンバス、油彩
123.5 × 161cm 第2回美術文化協会展 1941年
板橋区立美術館蔵

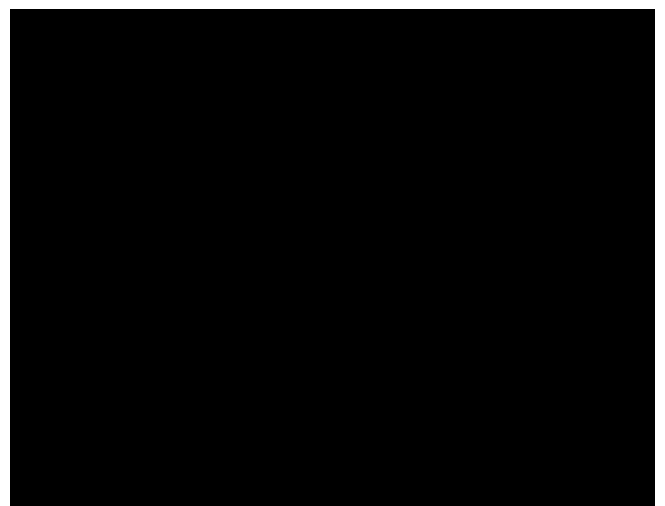


図4 真鍋(金子)英雄 《葡萄》
第4回美術文化協会展 1943年
サイズ・所在不明
(出典:「福沢一郎絵画研究所」展図録、板橋区立美術館、
2010年)



図5 アンリ・ルソー(Henri Rousseau) 《夢(The Dream)》
キャンバス、油彩 204.5×298.5 cm 1910年
ニューヨーク近代美術館蔵

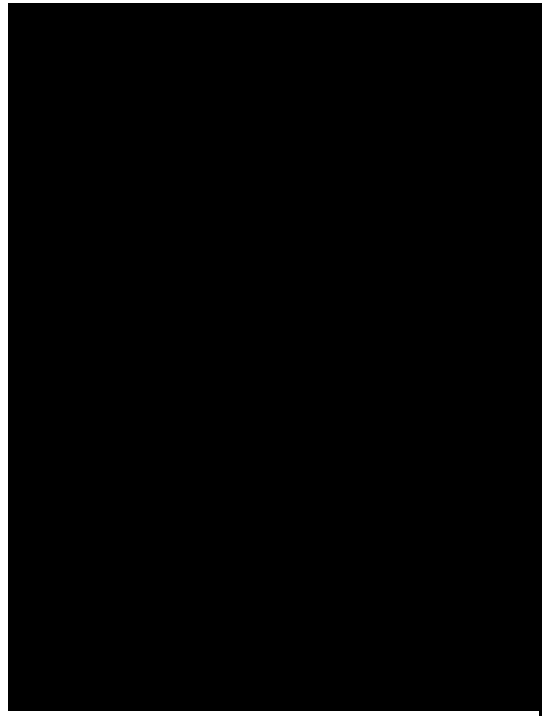


図6 米倉壽仁 《霧》 キャンバス、油彩
162.1×130.3cm 1938年
山梨県立美術館蔵

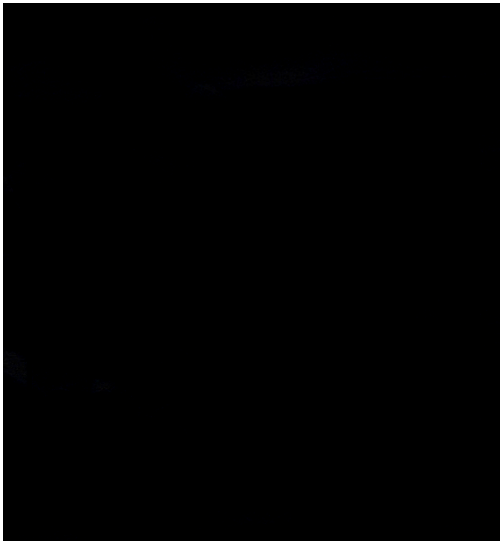


図7 真鍋と麻生三郎のアトリエ住宅
(出典：「新人画会」展図録、板橋区立美術館、2008年)

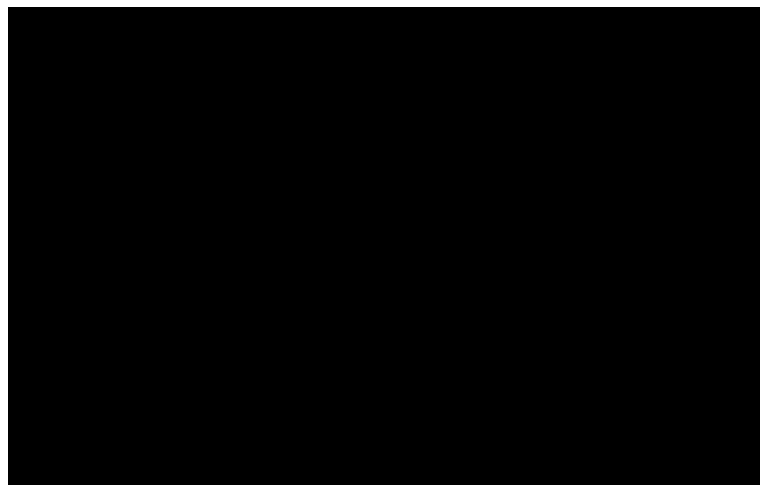


図8 池袋美術家クラブ設立懇親会 1936年9月10日、地平食堂にて
* 前列左端に真鍋英雄(推定)。
(出典：尾崎真人「池袋モンパルナス」考『美術フォーラム21』18号 醍醐書房 2008年)



図9 文学洙 《飛行機のある風景》
第3回自由美術家協会展 1939年
サイズ・所在不明
(出典：安惠靖「文學洙の生涯と絵画に関する研究
(문학수의 생애와 회화연구)」全南大学校大学院
美術学科修士学位論文、2006年2月)

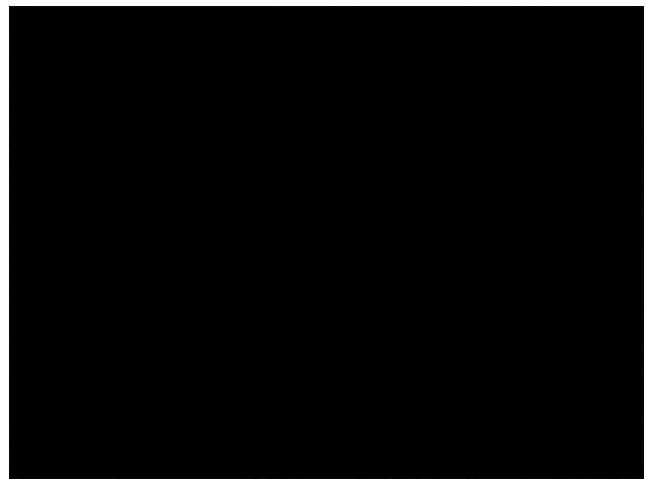


図10 金河鍵 《港の設計》 第3回美術文化協会展
1942年 サイズ・所在不明
(出典：『美術文化第3回展集』美術文化協会、1942年)

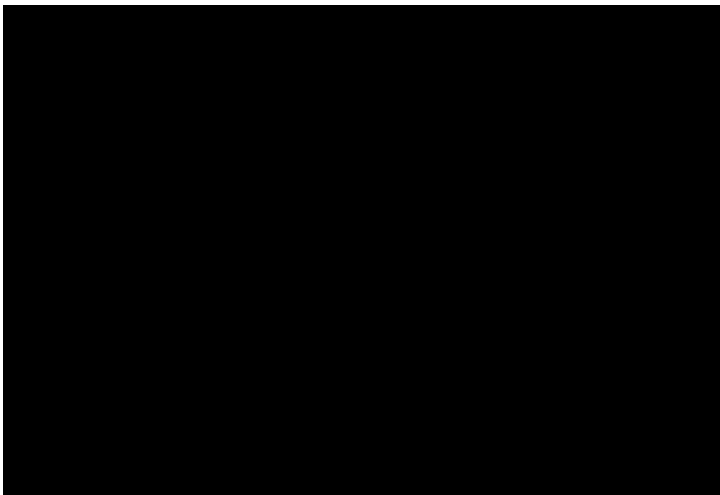


図11 金河鍵 《睡眠》 写真図版 1942年
東京藝術大学附属図書館蔵
(「卒業制作写真 (アルバム)」より)

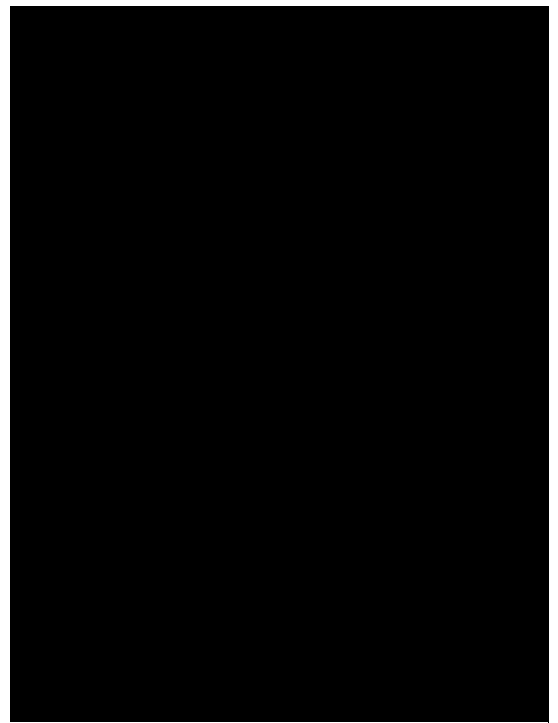


図12 鄭寛澈 《潮浪》 写真図版 1942年
東京藝術大学附属図書館蔵
(「卒業制作写真 (アルバム)」より)

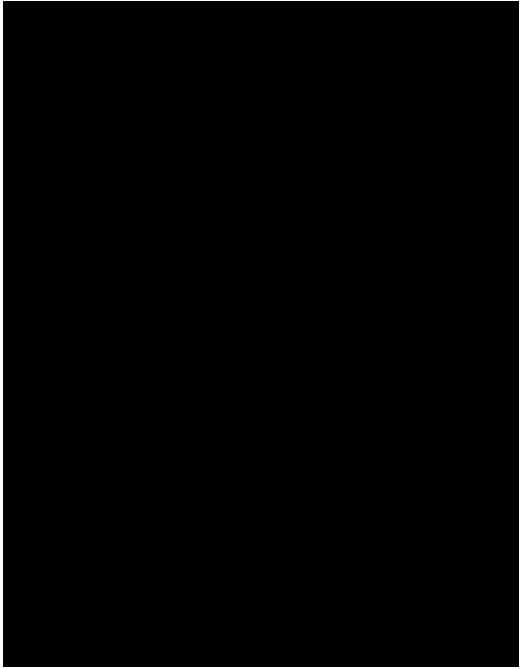


図13 山中市郎 《婦人像》 写真図版
1942年 東京藝術大学附属図書館蔵
(「卒業制作写真(アルバム)」より)

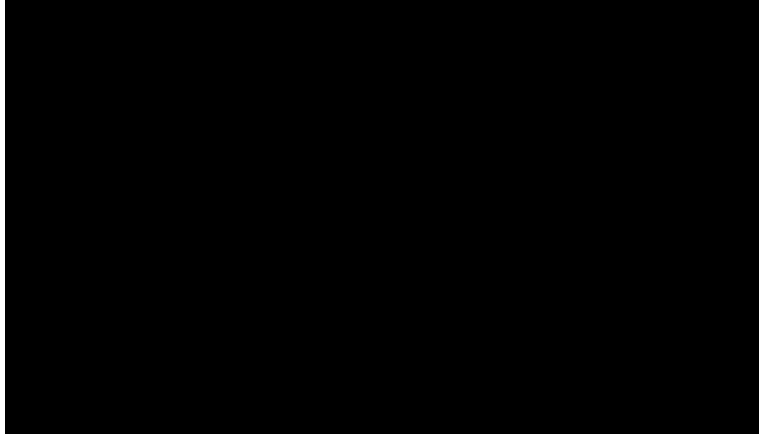


図14 鄭寛澈 《普天堡の炬火》 キャンバス、油彩 1948年
所在不明
(出典：リ・ジェヒョン (리재현) 『朝鮮歴代美術家編覧』平壤：文学芸術総合出版社、1999年)

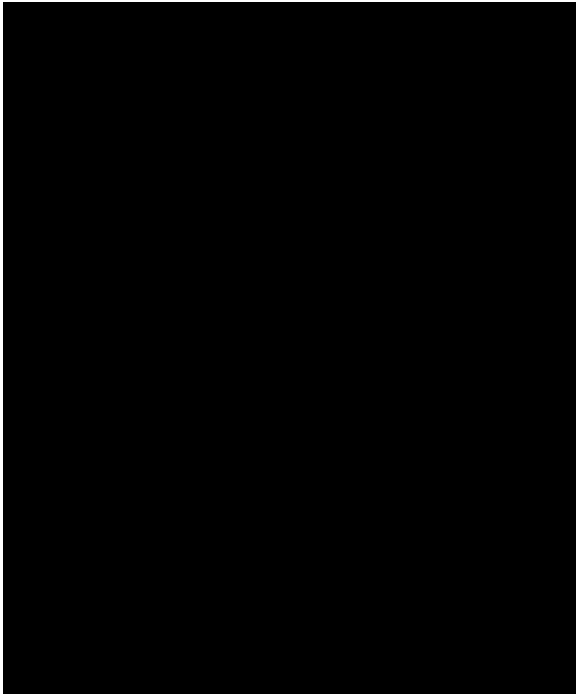


図15 真鍋英雄 《国破れて》
キャンバス、油彩 72.5×53cm 1969年
遺族・真鍋弘氏所蔵

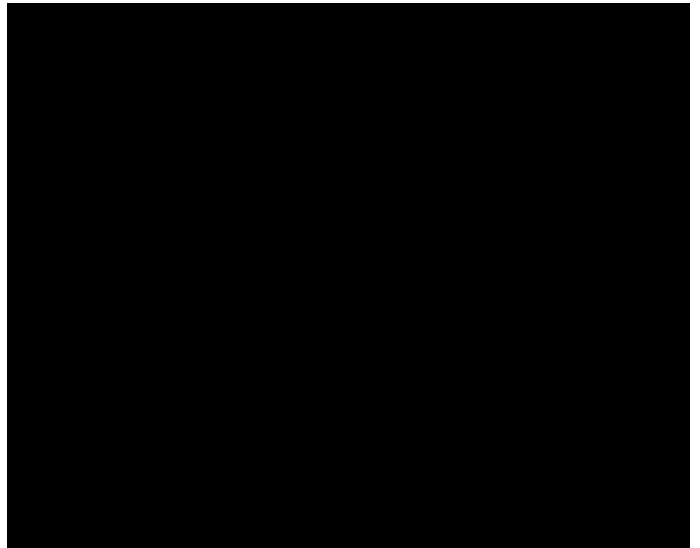


図16 真鍋英雄 《対峙する風景》 キャンバス、油彩
73×91cm 1967年 遺族・真鍋弘氏所蔵

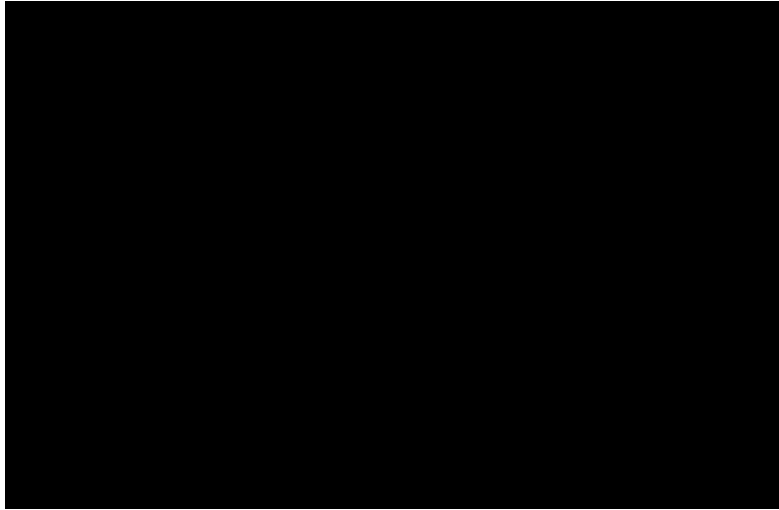


図17 新協劇団の演劇「春香傳」の写真 1938年
(真鍋英雄の遺品の写真アルバムより)



図18 新協劇団「春香傳」ポスター
1938年。

(出典：村山知義研究会「すべての僕が
沸騰する 村山知義の宇宙」展図録 神
奈川県立近代美術館、2012年)